



Infor LN 販売業者管理在庫ユー ザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	crossvmiug (U9501)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017年12月19日

目次

文書情報

第1章 販売業者管理在庫の概要.....	9
販売業者管理在庫.....	9
VMI シナリオ.....	9
関係パーティ.....	9
VMI 倉庫.....	10
在庫所有権.....	11
第2章 販売業者管理在庫のシナリオ.....	13
VMI ビジネスシナリオの概要.....	13
完全 VMI.....	14
顧客による供給計画.....	15
発注先別計画.....	17
顧客による倉庫管理.....	18
委託.....	19
第3章 手順.....	21
完全 VMI - 手順.....	21
顧客による倉庫管理 - 手順.....	23
第4章 販売業者管理在庫の設定.....	25
VMI 顧客役割 - 設定.....	25
VMI 発注先予測 - 設定.....	30
第5章 所有権.....	35
倉庫管理の在庫所有権.....	35
条件.....	35
消費ベースの所有権変更.....	36
消費基準.....	36
消費レコード.....	37
時間ベースの所有権変更.....	37
在庫所有権変更オーダー.....	38
在庫所有権変更オーダーを生成するには.....	38

在庫所有権変更オーダーを処理するには.....	39
倉庫管理での所有権登録の設定.....	40
VMI 倉庫設定.....	41
出庫する在庫を判断するには.....	41
出庫オーダーライン上のさまざまな所有者の在庫.....	42
消費のソーシングルール.....	42
出庫戦略によるソーシング率の使用の判断.....	42
ソーシング率と消費率.....	42
選択した取引先が所有する利用可能な在庫がない、または不足している.....	43
優先順位 1 以外の取引先による出庫.....	43
所有権を取得可能な利用可能在庫の検索.....	43
消費出庫の取引先の選択.....	45
消費の返品.....	48
所有権レコード.....	49
所有権レコードの生成、またはマニュアル作成.....	50
所有権レコードをマニュアルで作成するには.....	50
調整オーダーラインにマニュアルで作成する所有権レコード.....	50
第6章 管理倉庫.....	53
管理倉庫を更新するには.....	53
在庫更新方法.....	53
在庫残高.....	54
入庫、消費および在庫残高.....	54
消費としての在庫残高.....	54
自動入庫.....	55
顧客の管理倉庫.....	55
発注先の管理倉庫.....	55
自動入庫処理.....	55
自動入庫レコードの作成.....	55
入庫レコード基準.....	56
自動入庫の実行.....	56
自動入庫の設定.....	57
在庫消費処理.....	59
消費マスターデータ.....	59
消費.....	60

価格および値引.....	60
使用払販売オーダー/スケジュールライン.....	61
消費の処理.....	61
処理手順.....	62
管理倉庫での在庫レベルの調整.....	63
消費の補充オーダー/スケジュールのヘリンク.....	63
外注オーダー.....	63
VMI オーダーまたはスケジュール.....	63
発生元消費がある販売委託請求オーダー.....	64
付録A 用語集.....	65
索引	

文書情報

この文書では、販売業者管理在庫 (VMI) の概要を紹介し、さまざまな VMI シナリオと手続きについて説明します。VMI シナリオでの品目所有権と管理倉庫についても説明します。

本書の対象

本書は、顧客または発注先の観点から販売業者管理在庫に関与する人を対象としています。主要なユーザのほか、導入コンサルタントやサポート担当者も含まれます。

文書の概要

章番号	内容
第 1 章	販売業者管理在庫の概要
第 2 章	販売業者管理在庫のシナリオ
第 3 章	手順
第 4 章	販売業者管理在庫の設定
第 5 章	所有権
第 6 章	管理倉庫

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。このため、マニュアルの他のセクションへの参照が次の例のように示されています。

詳細については「はじめに」を参照してください。参照先セクションの場所を特定するには、「目次」を参照するか、文書末尾の「索引」を使用してください。

本書の末尾に用語集があります。用語集で説明されている語は、次の例のように表示されます。

共通情報で、[住所を取引先にリンク](#)できます。

本書をオンラインで表示する場合、下線付きの語をクリックすると文書末尾の用語定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいませうようお願いいたします。

販売業者管理在庫

販売業者管理在庫は、発注先がそれぞれの顧客や外注先の在庫を管理する際に通常従う在庫管理方法です。また、発注先は供給計画も管理している場合があります。他にも、在庫は顧客が管理し、供給計画は発注先が担当している場合もあります。在庫管理や在庫計画は、ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) に外注することもできます。詳細は、次の情報を参照してください: ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録

発注先が納入する在庫は、発注先、または顧客が所有します。多くの場合、在庫の所有権は顧客が在庫を消費する際に発注先から顧客に変更されますが、契約で規定されている時期に所有権の移行が生じることもあります。

販売業者管理在庫は、計画や資材の調達に関連する内部コストを削減できるほか、販売業者はそれぞれの在庫をサプライチェーンを明確に把握しながらよりよく管理できます。

VMI シナリオ

あらゆる業種に合せた調整が可能ですが、LN の VMI ソリューションは電子制御産業のサプライチェーンを基本としています。実際には、VMI に分類されているシナリオは多数見られ、発注先の役割は単なる顧客への商品の販売や納入にとどまっていません。詳細は、次の情報を参照してください: VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13) ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録

関係パーティ

ほとんどの VMI シナリオには、次のパーティが関与します。

- 発注先
- 契約製造元
- 顧客

発注先は契約製造元にコンポーネントを供給します。契約製造元はそのコンポーネントを使用して顧客に品目を製造します。このため、契約製造元には2つの役割があります。1つは(コンポーネントの)発注先にとっての顧客、もう1つは(品目の)顧客にとっての発注先です。LN では、コンポーネントの発注先と契約製造元間のフロー、および契約製造元と完成品の顧客間のフローは、発注先顧客関係として定義されます。契約製造元は、コンポーネント発注先の顧客として、および完成品の顧客の発注先として定義されます。

シナリオによっては、ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) など、さらに別のパーティが含まれる場合もあります。LSP は倉庫管理に関連するさまざまな活動を実行します。

役割

これらのシナリオはすべて次の質問を中心に展開されます。

- 倉庫管理は誰が実行するのか?
- 供給計画は誰が実行するのか?
- 商品の会計上の所有者は誰なのか?

LN では、自分の組織、発注先、その他の取引先の担当を定義する必要があります。品目、取引先、および倉庫により定義される契約には、これらの担当に関するデータが含まれます。VMI 機能を設定する方法については、次のトピックを参照してください。

- VMI 顧客役割 - 設定 (ページ 25)
- VMI 発注先予測 - 設定 (ページ 30)

たとえば、完全な VMI シナリオでは、発注先は供給計画と倉庫管理の責任者です。供給計画は、顧客の未納販売オーダーおよび予測需要に基づきます。発注先による供給計画をサポートする LN の機能について詳しくは、「Infor LN 発注先別供給計画ユーザガイド (U9482A JA)」を参照してください。

発注先は、顧客が商品を消費するまでその商品の所有者です。消費時点で顧客が所有者になり、支払が生じます。通常、顧客は自己請求処理を使用し、月 1 回など固定された間隔で支払をまとめて実行します。

発注先は、販売オーダーまたは販売スケジュールを使用し、顧客の購買オーダーまたは購買スケジュールに対応するそれぞれの商品を顧客に販売します。

例

発注先は顧客の所要量を把握しており、品目 X を週に一度 1000 個供給する計画を立てています。発注先は品目 X を倉庫 A に納入します。倉庫 A は顧客のサイトにありますが、発注先が管理しています。顧客は倉庫 A から品目 X のコールオフを定期的に実行します。それを受けて、発注先は商品を出庫し、顧客の製造プラントに納入します。この時点で、顧客が商品の所有者になり、支払が生じます。

VMI 倉庫

前の例で、倉庫 A は VMI 倉庫です。LN がサポートする VMI シナリオで、VMI 倉庫は顧客の ERP システムおよび発注先の ERP システムで定義されています。

倉庫管理を担当するパーティの場合、VMI 倉庫はすべての倉庫機能をサポートする標準倉庫として定義されます。倉庫管理を担当しないパーティの場合は、管理倉庫として VMI 倉庫が定義されます。

注意

管理倉庫は、LN で定義できる倉庫タイプではありません。倉庫を管理倉庫として定義するには、倉庫 (whwmd2500m000) セッションで [在庫管理] チェックボックスをオフにします。

このため、前の例の倉庫 A は発注先の ERP システムでは標準倉庫としてモデル化されます。また、顧客の ERP システムでは、管理倉庫としてモデル化されます。

VMI 倉庫と管理倉庫は、異なるパーティが管理する別々のシステムにあるため同期されていません。

詳細は、次の情報を参照してください: VMI 倉庫設定 (ページ 41)

在庫所有権

非 VMI のサプライチェーンでは、顧客が購入した商品の所有者になるのはその商品を自社倉庫に入庫した時点です。多くの VMI シナリオでは、商品を VMI 倉庫に納入後、顧客が実際に商品を使用するまでは発注先がその商品の所有者のままになります。

商品の所有権が発注先から顧客に変更される時期は、発注先と顧客間の契約で規定されています。共通情報パッケージの条件モジュールで、所有権変更ルールを定義できます。詳細は、次の情報を参照してください: 倉庫管理の在庫所有権 (ページ 35) および条件の概要

VMI ビジネスシナリオの概要

LNはさまざまな販売業者管理在庫(VMI)シナリオをサポートしています。次の表に主なシナリオを示します。シナリオごとに、関与する各パーティの担当を表示しています。

各シナリオで、顧客はそれぞれの完成品を提供する最終顧客のために完成品を製造する契約製造元です。完成品を製造するために、契約製造元は発注先からコンポーネントを購入します。完成品の最終顧客は、このシナリオには含まれていません。

シナリオ	会計上の所有権	倉庫管理	供給計画	詳細については、次の情報を参照してください。
完全 VMI	発注先	発注先	発注先	<ul style="list-style-type: none">■ 完全 VMI (ページ 14)■ 完全 VMI - 手順 (ページ 21)
顧客による計画	発注先	発注先	顧客	顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画	顧客	顧客	発注先	発注先別計画 (ページ 17)
顧客による倉庫管理	発注先	顧客	発注先	<ul style="list-style-type: none">■ 顧客による倉庫管理 (ページ 18)■ 顧客による倉庫管理 - 手順 (ページ 23)
発注先による会計上の所有権	発注先	顧客	顧客	委託 (ページ 19)

VMI 機能を設定するには、以下を参照してください。

- VMI 顧客役割 - 設定 (ページ 25)
- VMI 発注先予測 - 設定 (ページ 30)

完全 VMI

顧客として、契約製造元はコンポーネントの発注先が管理および所有している在庫からコンポーネントを取得します。このシナリオで、発注先はVMI倉庫を管理します。この倉庫は、それぞれの ERP システムでは標準倉庫としてモデル化されます。コンポーネントの供給計画は、発注先によっても実行されます。顧客の ERP システムで、VMI 倉庫は管理倉庫としてモデル化されます。この倉庫では、財務目的で在庫レベルをメンテナンスします。通常、所有権変更ルールは消費ベースまたは時間ベースです。詳細については、消費ベースの所有権変更 (ページ 36) または時間ベースの所有権変更 (ページ 37) を参照してください。

供給は、最小/最大在庫レベル補充、またはさらに詳細な供給計画のいずれかにもとづき、発注先がスケジュール済供給数量を引き当てる必要があります。

ステップ 1: 顧客が計画済消費を発注先に送る

顧客はそれぞれの所要量を発注先に送ります。所要量は、顧客の現在の在庫、未納販売オーダーまたは販売スケジュール、および予測需要にもとづきます。通常、顧客は所要数量の算出で基準にした情報を指定せずに合計の所要数量を送ります。

顧客と発注先が最小/最大補充レベルにもとづく補充基準に同意している場合、顧客は所要在庫レベルも一緒に送ります。

ステップ 2: 発注先が供給を計画する

発注先は、顧客の所要量を満たすことができるかどうか確認し、顧客から得た情報にもとづいて供給計画を作成し、計画した供給オーダーを実際の供給オーダーに変換します。

計画は顧客の現在の在庫、確定需要 (つまり、未納販売オーダーまたは販売スケジュール)、未確認予測需要にもとづきます。

結果として作成される供給計画は、特定の数量の納入予定の日付と時間の範囲で構成されます。供給計画には、確定部分と計画部分、つまり未確認の部分があります。確定需要と計画需要の境界は、発注先と顧客間の契約で規定されます。通常、特定のタイムフェンスより前の日付の需要が確定需要と見なされるように規定されています。

供給計画に確定需要と計画需要が含まれる場合、顧客は通常、購買スケジュールを使用します。確定需要のみ含まれている場合、顧客は購買オーダーを使用します。

一部の完全 VMI のシナリオでは、発注先で数量を引き当てて顧客に転送する必要があります。この場合、発注先が顧客の在庫を補充する前に、顧客による供給計画 (ページ 15) で説明されている次のことが実行されます。

- 発注先が供給計画に引き当てる
- 顧客がコールオフを送信する

ステップ 3: 顧客が供給を承認する

このステップはオプションです。発注先が顧客の在庫を補充する前に、顧客が発注先で確認済の供給を承認します。

ステップ 4: 発注先が顧客の在庫を補充する

発注先は必要に応じて、VMI 倉庫に補充します。発注先は契約の合意、通常は最小/最大補充レベルに従ってコンポーネントを出庫します。

VMI 倉庫の管理は発注先が行っているため、入庫は発注先の ERP システムに登録されます。顧客に入庫を通知するために、発注先は ロゼッタネット-XML メッセージの在庫レポートを顧客に送信します。このメッセージは、顧客の管理倉庫の自動入庫をトリガします。他の通信方法も使用されます。その場合、顧客はそれぞれの管理倉庫にマニュアルで入庫を入力します。

管理倉庫の更新では、一定期間ごとにまとめた入庫情報で十分であるため、顧客が在庫レベルの詳細な情報を頻繁に必要とすることはほとんどありません。

所有権変更ルールが委託の場合、顧客は品目が消費のために出庫された時点で所有者になります。

ステップ 5: 発注先が顧客に向けて在庫を出庫する

発注先は契約の合意、通常は最小/最大補充レベルまたは顧客からのコールオフに従って在庫を顧客に向けて出庫します。発注先と顧客はそれぞれの ERP システムの VMI 倉庫に出庫を登録します。

所有権変更ルールが委託の場合、顧客は品目が消費のために出庫された時点で所有者になります。

ステップ 6: 請求

発注先はそれぞれのシステムに消費を記録します。この結果、顧客の支払予定の未決済金額が生じます。通常、請求書は定期的に作成されて送付されます。

請求処理は、発注先または顧客のいずれかが開始します。発注先が請求処理をトリガーする場合、発注先はロゼッタネット請求通知メッセージを顧客に送信します。通常、顧客は自己請求処理を使用し、月 1 回など固定された間隔で支払をまとめて実行します。発注先は自己請求請求書と未決済金額を照合します。請求書の総計レベルは、発注先と顧客間の契約で規定されます。

ステップ 7: 支払

発注先は、顧客の支払と未決済金額を自己請求または発注先からの請求書に基づいて照合します。

顧客による供給計画

顧客は、発注先が管理および所有している在庫からコンポーネントを受け取ります。コンポーネントの供給計画は顧客が実行します。このシナリオで、発注先は VMI 倉庫を管理します。この倉庫は、それぞれの ERP システムでは標準倉庫としてモデル化されます。顧客の ERP システムで、VMI 倉庫は管理倉庫としてモデル化されます。この倉庫では、計画目的で在庫レベルをメンテナンスします。通常、所有権変更ルールは時間ベースまたは消費ベースです。詳細については、消費ベースの所有権変更 (ページ 36) または時間ベースの所有権変更 (ページ 37) を参照してください。

ステップ 1: 顧客が供給を計画する

顧客が製造に必要なコンポーネントの供給を計画します。計画は顧客の現在の在庫、確定需要(つまり、未納販売オーダーまたは販売スケジュール)、未確認予測需要にもとづきます。

結果として作成される供給計画は、特定の数量の納入予定の日付と時間の範囲で構成されます。供給計画には、確定部分と計画部分、つまり未確認の部分があります。確定需要と計画需要の境界は、発注先と顧客間の契約で規定されます。通常、特定のタイムフェンスより前の日付の需要が確定需要と見なされるように規定されています。

供給計画に確定需要と計画需要が含まれる場合、顧客は通常、購買スケジュールを使用します。確定需要のみ含まれている場合、顧客は購買オーダーを使用します。

顧客は所有している在庫が十分な間は補充を要求しません。所有在庫が需要の一部しか満たすことができない場合、顧客は所有在庫を最初に引き当ててから発注先が所有する在庫を引き当てます。また、顧客が製造に必要な所要量よりも多くのコンポーネントを出庫、または消費し、VMI 倉庫にその過剰分を戻す場合、それらコンポーネントの所有者はそのまま顧客になります。

顧客は供給計画を発注先に送ります。

ステップ 2: 発注先が供給計画に引き当てる

発注先は、顧客の所要量を満たすことができるかどうか確認し、供給計画の日付/時刻スケジュールに従って納入できる数量を引き当てます。

オプションで、発注先が確定需要および計画需要に引き当てます。計画需要の場合、発注先は時刻ではなく日付に引き当てます。通常、発注先は約定引当数量と計画数量をそれぞれの ERP システムに販売スケジュールとして保存します。

発注先は、顧客に発注先で引き当てることができる数量を通知します。発注先ですべての要求数量を引き当てることができない場合、顧客は他の発注先や代替品目を探することができます。

ステップ 3: 顧客がコールオフを送信する

購買スケジュールで、顧客は約定引当数量に対してコールオフを入力します。このシナリオで、コンポーネントの在庫の補充は、購買スケジュールまたは購買オーダー、および EDI/ロゼッタネットメッセージでトリガされます。

ステップ 4: 発注先が顧客の在庫を補充する

発注先は必要に応じて、VMI 倉庫に補充します。

VMI 倉庫の管理は発注先が行っているため、入庫は発注先の ERP システムに登録されます。顧客に入庫を通知するために、発注先はロゼッタネット XML メッセージの在庫レポートを顧客に送信します。このメッセージは、顧客の管理倉庫の自動入庫をトリガします。

他の通信方法も使用されます。その場合、顧客はそれぞれの管理倉庫にマニュアルで入庫を入力します。入庫数量は、発注先ごとに顧客の購買スケジュールに挿入されます。

所有権変更ルールが委託の場合、顧客は品目が消費のために出庫された時点で所有者になります。

残りのステップは、完全 VMI のシナリオの次のステップと同じです。

1. 発注先が顧客に向けて在庫を出庫する
2. 請求
3. 支払

発注先別計画

顧客は顧客自身が所有および管理している在庫からコンポーネントを取得します。供給計画の責任者は発注先です。このため、発注先が在庫の在庫レベルを判断します。ただし、商品の会計上の所有者ではありません。

VMI 倉庫は顧客の ERP システムで標準倉庫としてモデル化されます。これは、倉庫管理を実行するのが顧客であるためです。さらに、顧客は商品の所有者です。適切な供給計画を可能にするには、VMI 倉庫を管理倉庫として発注先の ERP システムでモデル化します。発注先にとっての利点は、最新情報を元にそれぞれの顧客に商品を引き当てることができるため、柔軟性と信頼性を高められる点です。

完全 VMI のシナリオと同じように、このシナリオでも、供給計画は最小/最大在庫レベル補充、またはさらに詳細な供給計画のいずれかにもとづき、発注先がスケジュール済供給数量を引き当てる必要があります。

ステップ 1: 顧客が計画済消費を発注先に送る

顧客が計画済消費を発注先に送る

ステップ 2: 発注先が供給を計画する

発注先が供給を計画する

ステップ 3: 発注先が顧客の在庫を補充する

発注先は必要とされるだけ、VMI 倉庫に補充します。

顧客は、VMI 倉庫に商品の入庫を登録します。

発注先に入庫を通知するために、顧客はロゼッタネット XML メッセージの在庫レポート/入庫を顧客に送信します。このメッセージは、在庫入庫をトリガして発注先の管理倉庫の在庫レベルを更新します。これにより、発注先は適切に供給計画を実行できます。

他の通信方法も使用されますが、その場合、顧客の管理倉庫と発注先の管理倉庫にマニュアルで入庫を入力する必要があります。入庫数量は、発注先ごとに顧客の購買スケジュールに挿入されます。

ステップ 4: 発注先が顧客に請求書を送付する

顧客は入庫時にコンポーネントを所有することになるため、発注先は顧客に定期的に請求を行います。このシナリオの場合、顧客による自己請求は実際的ではありません。

ステップ 5: 顧客が在庫を出庫する

VMI 倉庫の倉庫管理の責任者は顧客であるため、顧客が製造または販売のためにコンポーネントを出庫します。

ステップ 6: 顧客が発注先に出庫を通知する

顧客は、ロゼッタネット XML メッセージの分配在庫レポートを使用して、発注先に在庫の出庫を通知します。発注先は、供給計画を効率的に実行するためにこの情報が必要です。

ステップ 7: 顧客が発注先に支払を実行する

顧客が発注先に支払を行います。

顧客による倉庫管理

顧客は発注先が所有および計画しているが、管理は顧客自身が行っている在庫からコンポーネントを取得します。

VMI 倉庫は発注先の ERP システムでは管理倉庫としてモデル化されます。これは、供給計画を実行し、商品を所有しているのが発注先であるためです。顧客の ERP システムで、VMI 倉庫は標準倉庫としてモデル化されます。これは、倉庫管理を担当しているのが顧客であるためです。

完全 VMI のシナリオと同じように、このシナリオでも、供給計画は最小/最大在庫レベル補充、またはさらに詳細な供給計画のいずれかにもとづき、発注先がスケジュール済供給数量を引き当てる必要があります。

ステップ 1: 顧客が計画済消費を発注先に送る

顧客が計画済消費を発注先に送る

ステップ 2: 発注先が供給を計画する

発注先が供給を計画する

ステップ 3: 発注先が顧客の在庫を補充する

発注先は必要に応じて、VMI 倉庫に補充します。

顧客は、VMI 倉庫に商品の入庫を登録します。

ステップ 4: 顧客が在庫更新メッセージを発注先に送信する

発注先に入庫を通知するために、顧客はロゼッタネット XML メッセージの在庫レポート/入庫を顧客に送信します。このメッセージは、在庫入庫をトリガして発注先の管理倉庫の在庫レベルを更新します。これにより、発注先は適切に供給計画を実行できます。

他の通信方法も使用されますが、その場合、顧客の管理倉庫と発注先の管理倉庫にマニュアルで入庫を入力する必要があります。入庫数量は、発注先ごとに顧客の購買スケジュールに挿入されます。

ステップ 5: 顧客が在庫を出庫する

VMI 倉庫の倉庫管理の責任者は顧客であるため、顧客が製造または販売のためにコンポーネントを出庫します。

ステップ 6: 顧客が発注先に出庫を通知する

顧客は、ロゼッタネット XML メッセージの分配在庫レポートを使用して、発注先に在庫の出庫を通知します。発注先は、供給計画を効率的に実行するためにこの情報が必要です。

ステップ 7: 顧客が発注先に支払を実行する

顧客が発注先に支払を行います。

委託

顧客は、発注先が保有し顧客自身が管理および計画する在庫から構成要素を取得します。

VMI 倉庫は、発注先の ERP システムでは、管理倉庫としてモデル化されます。これは発注先に商品の所有権があるためです。顧客の ERP システムでは、VMI 倉庫が標準倉庫としてモデル化されます。これは顧客が倉庫の管理の責任を負っているためです。

ステップ 1: 顧客が供給を計画

顧客が生産に必要な構成要素の供給を計画します。この計画では、顧客の現在の在庫、確定需要(未消化の販売オーダーまたは販売スケジュール)、および確認されていない予測需要が考慮されます。

作成された供給計画は、特定の数量を納入する日時の範囲からなります。供給計画には、確定部分と、計画部分すなわち未確認部分が含まれています。確定需要と計画需要の区分は、発注先と顧客間の契約で取り決められます。通常、特定のタイムフェンスより前の需要の期日は、確定需要とみなされます。

供給計画に確定需要と計画需要が含まれている場合、顧客は通常購買スケジュールを使用します。確定需要のみが含まれている場合、顧客は購買オーダーを使用します。

顧客は、十分な在庫を保有している間は、補充を要求しません。保有している在庫で需要のすべてを充足できない場合には、顧客が保有する在庫を引き当ててから発注先が保有する在庫を引き当てます。

顧客が、供給計画を発注先に送付します。

ステップ 2: 発注先が供給計画を約定

発注先は、顧客の所要量を充足可能かどうかを確認し、供給計画の日時スケジュールに従った納入が可能な数量を約定します。

発注先は、必要に応じて確定需要と計画需要に対して約定することもあります。計画需要については、時刻を除き日付に対して約定します。通常、発注先は約定済および計画済の数量を ERP システムで販売スケジュールとして登録します。

発注先は、約定可能な数量を顧客に通知します。発注先がすべての要求数量を約定できない場合、顧客は別の供給先や追加の供給先、または代替品目を探すことができます。

ステップ 3: 顧客がコールオフを送信

購買スケジュールでは、顧客が約定引当数量に対してコールオフを入力します。このシナリオでは、構成要素の在庫の補充は、購買スケジュールまたは購買オーダーと EDI/ロゼッタネットメッセージによってトリガされます。

ステップ 4: 発注先が顧客の在庫を補充する

発注者は、要求に従って VMI 倉庫 に補充します。

顧客は、VMI 倉庫に商品の入庫を登録します。

顧客は、入庫を発注先に通知するために、ロゼッタネット XML メッセージの在庫のレポート/入庫を発注先に送付します。このメッセージによって、在庫受取がトリガされ、発注先の管理倉庫の在庫レベルが更新されます。

また、発注先の ERP システムでは、顧客からコールオフメッセージを受信した後、在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで、消費レコードをマニュアルまたは自動で作成できます。この消費レコードは、発注先の請求モジュールでの請求処理を制御します。これによって、顧客への発生元販売オーダーへ消費レコードがリンクされます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)

ステップ 5: 発注先が顧客に請求書を送付

発注先は在庫構成要素を所有しているため、定期的に顧客へ請求を行います。また、このシナリオでは顧客が自己請求を行う場合もあります。

ステップ 6: 顧客が在庫を出庫

顧客は VMI 倉庫の倉庫管理の責任を負っているため、生産または販売の構成要素を出庫します。

在庫消費の処理 (tdsls4290m000) セッションで、発注先は、消費レコードを処理し、発生元オーダーラインにリンクされた請求書ラインを作成します。請求ラインは、販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションに表示されます。

処理中に消費レコードへリンク可能な発生元販売オーダーラインが見つからなかった場合、[委託請求] タイプの販売オーダーが生成され請求ラインが作成されます。

ステップ 7: 顧客が発注先に支払う

顧客が発注先に支払を行います。

完全 VMI - 手順

次の手順は、発注先と顧客が需要の連絡、供給の計画、在庫の供給、在庫の消費、請求書の送付、および商品の支払を行うステップの概要を示しています。これらのステップは、完全 VMI のシナリオを構成しており、一部のステップはその他のさまざまなシナリオにも適用されます。いくつかのステップは発注先ではなく顧客が実施することもでき、その逆の場合もあります。該当箇所にはこの明記をしています。

これらのステップの一部には、別の機能を使用するために他のセッションやオプションを使用することができますが、通常は次の手順を実行することをお勧めします。他の機能については次の項を参照してください。

- VMI 顧客役割 - 設定 (ページ 25)
- VMI 発注先予測 - 設定 (ページ 30)

ステップ 1: 顧客が計画済消費を発注先に送る

1. 販売オーダー (tdsls4100m000) セッションで、顧客が、顧客自身の顧客に販売する品目の販売オーダーを生成します。
2. オーダ計画の生成 (cprrp1210m000) セッションで、顧客は MRP を実行し、前のステップで生成したオーダーを充足するために発注先から購入する必要がある品目または構成要素の数量を見積ります。
3. 発注先への予測の承認 (cpvmi0202m000) セッションで、顧客は予測データを発注先に送付する前に承認します。
4. 発注先への予測 (cpvmi0102m000) セッションで、顧客が発注先に予測データを送付します。

このステップは、発注者が供給計画を実施する次のような別のシナリオにも適用可能です。

- 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
- 発注先別計画 (ページ 17)

ステップ 2: 発注先が供給を計画する

1. 顧客からの予測の承認 (cpvmi0206m000) セッションで、発注先が顧客から受領した予測データを承認します。このために、クラスタを計画品目フィールドのクラスタセグメント (外側左のセクション) に挿入してください。

2. 顧客からの予測改訂 (cpvmi0506m000) セッションで、発注先は顧客から受領したあらゆる予測の改訂をチェックおよび承認します。
3. 予測にもとづく計画供給の生成 (cpvmi1211m000) セッションで、発注先が承認済予測に基づいて計画物流オーダーを生成します。計画オーダーが生成されない場合には、このセッションを再実行して [例外メッセージの出力] チェックボックスをオンにします。
4. 承認済供給の生成 (cpvmi1210m000) セッションで、発注者が、予測にもとづく計画供給の生成 (cpvmi1211m000) セッションで生成された計画オーダーをもとに承認済供給基準を生成します。
このステップは、[計画] タブの条件ライン (tctrm1620m000) セッションで、該当する条件合意の [供給の確認] チェックボックスがオンの場合に必要となります。
5. 計画オーダー (cprrp1100m000) セッションで、発注先は、適切なメニューの [計画オーダーの転送] オプションを使用して計画物流オーダーを倉庫移動オーダーへ転送します。発注先が承認済供給を承認して顧客へ送付し、顧客が発注先からの承認済供給を承認するまで、発注先は転送オーダーを実行しません。
6. 発注先は、次のいずれかの方法で承認済供給を承認します。
 - 顧客への承認済供給の承認 (cpvmi0208m000) セッションで、特定の品目範囲の承認済供給を承認します。承認済供給を承認する前に、このセクションでチェックを適用する必要がある品目を指定します。
 - 顧客への承認済供給 (cpvmi0108m000) セッションで、[承認] をクリックして特定の1つの品目の承認済供給を承認します。

このステップは、発注者が供給計画を実施する次のような別のシナリオにも適用可能です。

- 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
- 発注先別計画 (ページ 17)

詳細は、次の情報を参照してください: Infor LN 発注先別供給計画ユーザガイド (/guides/U9482AJA) の顧客の供給計画の実行 - 手順

ステップ 3: 顧客が供給を承認する

1. 発注先からの承認済供給の承認 (cpvmi0205m000) セッションで、顧客が、発注先からの承認済共有を承認します。
2. 品目発注先計画 (cpvmi0530m000) セッションで、顧客は、現在の品目と発注先に対して作成された品目取引先計画を表示します。

ステップ 4: 発注先が顧客の在庫を補充する

1. 顧客が、発注者からの承認済供給 (前述のステップを参照) を承認したら、倉庫オーダー (whinh2100m100) セッションで、発注者が、発注者の倉庫から VMI 倉庫への転送オーダーを実行するために必要な出庫および入庫のステップを実施します。VMI は、発注者のシステムの標準倉庫です。詳細については、倉庫管理パッケージのオンラインヘルプを参照してください。
2. 自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションで、顧客が顧客の ERP システムで管理倉庫として設定された VMI 倉庫を更新するために自動受取を開始します。詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫を更新するには (ページ 53)

ステップ 5: 発注先が顧客に向けて在庫を出庫する

発注先が顧客用の在庫を出庫します。多くの場合、これは顧客からのコールオフに基づいて行われます。顧客は、販売や生産用にこの出庫済在庫を消費します。

発注先と顧客はそれぞれの ERP システムの VMI 倉庫に出庫を登録します。

顧客の ERP システムでは、買掛入庫と消費レコードが作成されます。消費レコードは、委託消費 (whwmd2551m000) セッションに保存され、購買オーダーと、消費される商品の倉庫での入庫が発生した受取にリンクされます。詳細は、次の情報を参照してください: 消費レコード

発注先の ERP システムでは、発注先が商品を消費用に在庫した後で、支払タイプが [貨物引換払] の販売オーダーを作成します。この販売オーダーによって、請求処理を開始します (次のステップを参照)。

このステップは、発注者が請求管理を実施する、顧客による供給計画 (ページ 15) のようなシナリオにも適用可能です。

ステップ 6: 請求

請求処理は、発注先または顧客のいずれかが開始します。発注先が請求をトリガする場合には、次のような手順になります。

1. 支払タイプが [貨物引換払] の販売オーダーについて、発注先が販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションで請求ラインを作成します。
2. 販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションで、発注先が請求ラインを請求へ発行します。
3. 請求バッチ (cisli2100m000) セッションで、発注先が請求バッチを作成します。
4. 請求書の構成/出力/転記 (cisli2200m000) セッションで、発注先が請求書を作成します。これにより、発生元販売オーダーが処理されます。

または、顧客が、自己請求を採用し、1 ヶ月に 1 回などの一定の期間で合算された支払を行います。詳細は、次の情報を参照してください: 自己請求または財務会計パッケージのオンラインヘルプ

顧客または発注先によって開始された請求は、すべての VMI シナリオに適用されます。

ステップ 7: 支払

発注先は、顧客の支払と未決済金額を自己請求または発注先からの請求書に基づいて照合します。詳細は、次の情報を参照してください: 支払/回収方法または財務会計パッケージのオンラインヘルプ

顧客による倉庫管理 - 手順

顧客による倉庫管理 (ページ 18) シナリオのステップは、ステップ 5「発注先が顧客の在庫を出庫」とステップ 6「請求」を除いて、完全 VMI (ページ 14) シナリオと同じです。これらのステップを次に示します。このシナリオのその他のステップは完全 VMI - 手順 (ページ 21) を参照してください。

ステップ 5. 顧客が在庫を出庫

1. 顧客が消費する在庫を出庫します。
2. 発注先と顧客はそれぞれの ERP システムの VMI 倉庫に出庫を登録します。
顧客の ERP システムでは、買掛入庫と消費レコードが作成されます。消費レコードは、委託消費 (whwmd2551m000) セッションに保存され、購買オーダーと、消費される商品の倉庫での入庫が発生した受取にリンクされます。詳細は、次の情報を参照してください: 消費レコード
発注先の ERP システムでは、在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで、消費レポートが顧客からの BOD メッセージを受信した後に自動的に作成されるか、マニュアルで作成します。この消費レポートは、管理倉庫での在庫レベルの数を減らし、発注者の請求モジュールでの請求処理を制御します。これによって、顧客への発生元販売オーダーへ消費レコードがリンクされます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)

ステップ 6. 請求

1. 在庫消費の処理 (tdsls4290m000) セッションで、発注先は、消費レコードを処理し、発生元オーダーラインにリンクされた請求書ラインを作成します。請求ラインは、販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションに表示されます。
処理中に消費レコードへリンク可能な発生元販売オーダーラインが見つからなかった場合、[委託請求] タイプの販売オーダーが生成され請求ラインが作成されます。
2. 請求処理は、発注先または顧客のいずれかが開始します。発注先が請求をトリガする場合には、次のような手順になります。
 - a. 請求バッチ (cisli2100m000) セッションで、発注先が請求バッチを作成します。
 - b. 請求書の構成/出力/転記 (cisli2200m000) セッションで、発注先が請求書を作成します。これにより、発生元販売オーダーが処理されます。
3. または、顧客が、自己請求を採用し、1 ヶ月に 1 回などの一定の期間で合算された支払を行います。詳細は、次の情報を参照してください: 自己請求または財務会計パッケージのオンラインヘルプ

顧客または発注先によって開始された請求は、すべての VMI シナリオに適用されます。

VMI 顧客役割 - 設定

組織に対応する VMI シナリオをモデル化するには、さまざまなパラメータ設定が必要になります。組織で、VMI 単位で商品を購入している場合には、顧客役割を設定します。組織で、VMI 単位で商品を販売している場合には、発注先役割を設定します。

顧客役割で最も重要な設定を次に示します。

[委託 (非所有)] タイプまたは [委託 (所有)] タイプの倉庫を使用する組織は、それらの委託を継続できませんが、VMI 機能は使用できません。

顧客役割を設定するには:

ステップ 1: 導入済ソフトウェア構成要素

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) 詳細セッションの [モジュール] タブで、次の操作を行います。

- [条件] チェックボックスをオンにします。
- [内部所有権] チェックボックスをオフにします。
- [確認の使用 (購買)] チェックボックスをオフにします。
- [外部所有権] および [VMI (顧客側)] チェックボックスをオンにします。

これらの設定は、すべての VMI シナリオに適用可能です。詳細は、次の情報を参照してください: VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13)

ステップ 2: クラスタ

クラスタ (tcemm1135m000) セッションで、[外部] チェックボックスをオフにし、すべてのシナリオで [販売先取引先] および [出荷先取引先] フィールドを空欄のままにします。これは、これらの設定が発注先役割に関連するものであるためです。

ステップ 3: 倉庫

倉庫 (whwmd2500m000) セッションで、VMI 倉庫を設定します。顧客による供給計画 (ページ 15) および完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、VMI 倉庫は管理倉庫としてモデル化されます。次のフィールドとチェックボックスについて検討します。

- [企業計画に含む]
顧客が VMI 倉庫の供給計画を実施するシナリオではこのチェックボックスをオンにすることをお勧めします。それ以外の場合はオフにしてください。
VMI 倉庫が、他の発注先や顧客自身の顧客など、現在の VMI 関係から外れる取引先の商品の在庫処理にも使用される場合には、このチェックボックスをオフにしてください。
- [在庫管理]
顧客が在庫管理を実施する場合にはこのチェックボックスをオンにします。
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
 - 委託
詳細は、次の情報を参照してください: VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13)
- [取引先]
このフィールドで、[在庫管理] チェックボックスをオフにした場合、在庫管理を実施する取引先を選択します。これは、次のシナリオに適用されます。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
- [外部サイト]
すべてのシナリオで、このフィールドに [No] を選択します。これは、顧客の場合、VMI 倉庫は会社が所有しているためです。
- また、対応する取引先のフィールドを空欄のままにします。
 - [購買元]
 - [出荷元]
 - [販売先]
 - [出荷先]

ステップ 4: 品目

品目を設定するには:

- すべてのシナリオについて、品目 - デフォルト (tcibd0102m000) セッションの [品目タイプ] フィールドで [購買] を選択します。
- 品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000) セッションで、すべてのシナリオについて [オーダシステム] フィールドを [計画] にします。
- 品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの [一般] タブで、次のフィールドについて検討します。
 - [デフォルト供給ソース]
すべてのシナリオで、[品目ソース] を選択します。これにより、[実際供給ソース] フィールドが [購買] に変わります。
 - [デフォルト倉庫]
すべてのシナリオで、前のステップで指定した VMI 倉庫を入力します。

- [マスタ計画]
VMI のシナリオでは、このチェックボックスをオンにしないことをお勧めします。他のシナリオでは、組織の計画の要件に従って、マスタ計画を選択するかどうか決定します。詳細は、次の情報を参照してください: 企業計画パッケージのオンラインヘルプ。
- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4100s000) セッションの [一般] タブの [登録レベル] フィールドで、在庫の所有権を登録する必要があるかどうか、およびその方法を指定できます。
発注先や LSP が倉庫管理を実施するシナリオでは、顧客の ERP システムにおける VMI 倉庫が管理倉庫である場合、所有権は倉庫レベルで登録するだけでかまいません。
そうでない場合は、要求される所有者の登録レベルは、VMI 倉庫に会社の所有在庫および非所有在庫がある場合、またはさまざまなビジネス取引先が所有する在庫がある場合によって異なります。顧客が倉庫管理を実施するシナリオには次のようなものがあります。
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
 - 委託
- 倉庫別品目データ (whwmd2510m000) 詳細セッションの [登録レベル] フィールドでは、倉庫と品目の組合せについて、在庫の所有権を倉庫で登録する必要があるかどうかと、その登録方法を指定できます。シナリオごとの所有権の登録レベルに関する情報については前のリスト項目を参照してください。

ステップ 5: 条件

- 条件 (tctrm1600m000) セッションで、すべてのシナリオに関係する次のフィールドについて検討します。
 - [条件タイプ] フィールドで、[購買] を選択します。
 - 検索レベル 1 の場合、[検索属性 1] に対して推奨される属性は [品目グループ] です。[検索属性 2] に対して推奨される属性は [倉庫] です。この方法により、この条件が品目グループのすべての品目に適用されます。特定の一連の条件をグループ化するために使用するその他の属性には、[製品タイプ] または [製品クラス] があります。
検索レベル 2 の場合に特定の品目に条件を設定するとき、[検索属性 1] には属性 [品目]、[検索属性 2] には属性 [倉庫] が推奨されます。[優先順位] フィールドで、検索レベル 1 よりも高い優先順位を設定します。
検索レベル 3 の場合、検索レベル 1 および 2 の条件で検索できない品目に一般的な条件を設定するために、属性には何も指定しないでください。
- すべてのシナリオで、基本的に次のチェックボックスをオンにします。
- [計画]
 - [オーダー]
 - [ロジスティック]
 - [請求]
 - [需要ペギング]
- たとえば、顧客による供給計画 (ページ 15) のシナリオでは、計画条件の設定が不要なことがあります。このチェックボックスは、前述の検索レベル用に選択した検索属性に従って使用可能になります。
- 発注先別計画 (ページ 17) のシナリオでは、オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [支払] フィールドで、[貨物引換払] を選択します。それ以外のシナリオでは、[使用払] を選択することをお勧めします。

- 計画条件 (tctrm1135m000) セッションで、次のフィールドについて検討します。

[一般] タブ

- [発注先別供給計画]
次のシナリオでは、顧客が供給計画を実施するため、基本的にこのチェックボックスをオフにしてください。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
それ以外の場合は、このチェックボックスをオンにします。
- [予測を発注先に送信]
次のシナリオでは、顧客が供給計画を実行するため、基本的にこのチェックボックスはオフにしてください。これにより発注先で予測が必要なくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
それ以外の場合は、このチェックボックスをオンにします。
- [総計レベル]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは基本的に、[詳細] を選択します。次のシナリオでは、値が [適用なし] になります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される総計レベルを設定します。
- [予測範囲]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオの場合、可能な限り広い範囲を設定します。次のシナリオでは、[予測を発注先に送信] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される予測範囲を設定します。

[確認済予測] タブ

- [確認済予測の使用]
次のシナリオでは、顧客が供給計画を実行し、発注先が予測を使用しないため、このチェックボックスはオフにします。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
それ以外の場合は、このチェックボックスをオンにします。
- [確認済予測の指定方法]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオの場合、推奨値は [メッセージ] です。次のシナリオでは、[確認済予測の使用] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される値を選択します。

- [確認済予測基準]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオの場合、推奨値は [すべての予測] です。次のシナリオでは、[確認済予測の使用] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される値を選択します。

[確認済供給] タブ

- [確認済供給の使用]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、このチェックボックスをオンにします。次のシナリオでは、[予測を発注先に送信] チェックボックスがオフになるためこのチェックボックスが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオでは、業務環境の要求に合わせてこのチェックボックスをオンまたはオフにします。
- [供給範囲の確認]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、可能な限り広いタイムフェンスを設定します。次のシナリオでは、[予測を発注先に送信] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求されるタイムフェンスを設定します。

[計画] タブ

- [補充基準]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、[確認済供給] を選択します。次のシナリオでは、[予測を発注先に送信] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される値を選択します。
- ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションでは、次のシナリオについて、管理倉庫を「実際」の VMI 倉庫の在庫レベルで更新する方法を指定できます。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
次のフィールドについて検討します。
 - [在庫更新方法]
 - [入庫処理]
 - [納入時]詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫を更新するには (ページ 53)
- 請求条件 (tctrm1145m000) セッションでは、請求の実施方法を指定できます。このフィールドは業務環境の要求に従って入力します。発注先役割に影響するのは、[請求書の受取] フィールドのみです。

ステップ 6: 購買契約

条件を購買契約にリンクします。購買契約を作成するときは、購買契約 (tdpur3100m000) セッションで次の操作を行います。

1. [購買元取引先] フィールドで、発注先を挿入します。
2. [条件 ID] フィールドで、適切な条件をリンクします。

VMI 発注先予測 - 設定

組織に対応する VMI シナリオをモデル化するには、さまざまなパラメータ設定が必要になります。組織で、商品を VMI を基準に購入している場合には顧客役割を設定し、商品を VMI を基準に販売している場合には発注先役割を設定します。

発注先役割で最も重要な設定を次に示します。

[委託 (非所有)] タイプまたは [委託 (所有)] タイプの倉庫を使用する組織は、それらの委託を継続できませんが、VMI 機能は使用できません。

発注先役割を設定するには:

ステップ 1: 導入済ソフトウェア構成要素

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) 詳細セッションの [モジュール] タブで、次の操作を行います。

- [条件] チェックボックスをオンにします。
- 企業計画で、顧客からの需要予測をもとに在庫を引き当てる必要がある一方で、補充がコールオフに従う場合は、[需要ペギング] チェックボックスをオンにします。
- [内部所有権] チェックボックスをオフにします。
- 商品の所有権が委託の場合、[外部所有権] チェックボックスをオンにします。
- [VMI (発注先側)] チェックボックスをオンにします。
- 基本的に [確認の使用 (販売)] チェックボックスはオフにします。ただし、発注先が在庫計画を実施し、対象の品目が顧客の製造プロセスにとって重要な場合にはこの限りではありません。たとえば、発注先別計画 (ページ 17) のシナリオなどがこれに当てはまります。

ステップ 2: クラスタ

クラスタ (tcemm1135m000) セッションで、次のフィールドについて検討します。

- [外部]
発注先が、完全 VMI (ページ 14)、発注先別計画 (ページ 17)、顧客による倉庫管理 (ページ 18) などのシナリオで供給計画を実行する場合は、このチェックボックスをオンにします。それ以外の場合には、このチェックボックスをオフにすることをお勧めします。
- [販売先取引先]
クラスタが外部の場合 ([外部] チェックボックスがオン)、顧客を挿入します。
- [出荷先取引先]
顧客にいくつかの出荷先取引先がある場合、該当する出荷先取引先を挿入します。

ステップ 3: 倉庫

倉庫 (whwmd2500m000) セッションで、VMI 倉庫を設定します。委託、顧客による倉庫管理 (ページ 18)、および発注先別計画 (ページ 17)のシナリオでは、これは管理倉庫です。次のフィールドとチェックボックスについて検討します。

- [クラスタ]
発注先が供給計画を実施する場合、クラスタ (tcomm1135m000) セッションで定義された外部クラスタを挿入します。これは通常、完全 VMI (ページ 14)、発注先別計画 (ページ 17)、および顧客による倉庫管理 (ページ 18)のシナリオに当てはまります。
- [企業計画を含む]
発注先が、VMI 倉庫の供給計画を実施する場合には基本的にこのチェックボックスをオンにします。
- [在庫管理]
発注先が在庫管理を実施する場合、次のシナリオでは基本的にこのチェックボックスをオンにします。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)詳細は、次の情報を参照してください: VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13)
- [取引先]
[在庫管理] チェックボックスをオフにした場合、在庫管理を実施する必要がある取引先 (顧客) を選択します。これは次のシナリオが該当します。
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
 - 委託
- [外部サイト]
発注先の場合、VMI 倉庫は顧客に帰属するため、基本的に [Yes] を選択します。
- [取引先]
[外部サイト] フィールドで [Yes] を選択した場合、[外部サイト] フィールドのすぐ下にある現在のフィールドに顧客にあたる取引先を入力します。
- [購買元] と [出荷元]
[外部サイト] グループボックスにあるこれらのフィールドは空欄のままにします。
- [販売先]
[外部サイト] フィールドで [Yes] を選択した場合、[外部サイト] グループボックスの現在のフィールドに顧客にあたる取引先を入力します。
- [出荷先]
[外部サイト] に [Yes] を選択しているとき、顧客側の出荷先取引先に、発注先が供給計画を実施する取引先が複数ある場合には、該当する出荷先取引先を挿入します。

ステップ 4: 品目

品目を設定するには:

- 品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000) セッションで、発注先が供給計画を実施するシナリオについて、[オーダシステム] フィールドで基本的に [計画] を選択します。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)

- 品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの [一般] タブで、次のフィールドについて検討します。
 - [計画品目]
発注先が供給計画を実施する場合には、このフィールドのクラスタセグメント (外側左) で、クラスタに定義された外部クラスタを選択します。
 - [デフォルト供給ソース]
発注先が共有計画を実施する場合には、基本的に [物流] を選択します。直送の場合は、値に [品目ソース] を指定する必要があります。
 - [デフォルト倉庫]
すべてのシナリオで、倉庫に指定された VMI 倉庫を入力します。
 - [マスタ計画]
VMI のシナリオでは、このチェックボックスをオンにする必要はありません。他のシナリオでは、組織の計画の要件に従って、マスタ計画を選択するかどうか決定します。詳細は、次の情報を参照してください: 企業計画パッケージのオンラインヘルプ。
- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4100s000) セッションの [一般] タブの [登録レベル] フィールドで、在庫の所有権を登録するかどうか、およびその方法を指定できます。

顧客が倉庫管理を実施する場合、VMI 倉庫は発注先の ERP システムで管理倉庫となるため、所有権は倉庫レベルで登録するだけで済みます。

そうでない場合は、要求される所有者の登録レベルは、VMI 倉庫に会社の所有在庫および非所有在庫がある場合、またはさまざまなビジネス取引先が所有する在庫がある場合によって異なります。顧客が倉庫管理を実施するシナリオには次のようなものがあります。

 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
 - 委託
- 倉庫別品目データ (whwmd2510m000) 詳細セッションの [登録レベル] フィールドでは、倉庫と品目の組合せについて、在庫の所有権を倉庫で登録する必要があるかどうかと、その登録方法を指定できます。シナリオごとの所有権登録レベルについては、前述の説明を参照してください。

ステップ 5: 条件

- 条件 (tctrm1600m000) セッションで、すべてのシナリオに関係する次のフィールドについて検討します。
 - [条件タイプ] フィールドで、[販売] を選択します。
 - 検索レベル 1 の場合、[検索属性 1] に対して推奨される属性は [品目グループ] です。[検索属性 2] に対して推奨される属性は [出荷先取引先] です。この方法により、この条件が品目グループのすべての品目に適用されます。特定の一連の条件をグループ化するために使用するその他の属性には、[製品タイプ] または [製品クラス] があります。

検索レベル 2 の場合に特定の品目に条件を設定するとき、[検索属性 1] には属性 [品目]、[検索属性 2] には属性 [出荷先取引先] が推奨されます。[優先順位] フィールドで、検索レベル 1 よりも高い優先順位を設定します。

検索レベル 3 の場合、検索レベル 1 および 2 の条件で検索できない品目に一般的な条件を設定するために、属性には何も指定しないでください。
 - ほぼすべてのシナリオで、基本的に次のチェックボックスをオンにします。
 - [計画]

- [オーダ]
- [ロジスティック]
- [請求]
- [需要ペギング]
たとえば、委託のシナリオでは、計画条件の設定が不要ことがあります。このチェックボックスは、前述の検索レベル用に選択した検索属性に従って使用可能になります。
- 発注先別計画 (ページ 17)のシナリオでは、オーダ条件 (tctrm1130m000) セッションの [支払] フィールドで、[貨物引換払] を選択します。それ以外の場合は、[使用払] を選択します。
- 計画条件 (tctrm1135m000) セッションで、次のフィールドについて検討します。

[一般] タブ

- [供給計画の責任者]
次のシナリオでは、発注先が供給計画を実施するため、基本的にこのチェックボックスをオンにしてください。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
それ以外の場合は、このチェックボックスをオフにします。
- [顧客からの予測受取]
発注先が、供給計画を実施し、顧客から需要予測を受け取る場合は、基本的に次のシナリオにおいてこのチェックボックスをオンにします。
 - 完全 VMI (ページ 14)
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)

[確認済予測] タブ

- [確認済予測の使用]
顧客が確認済の予測の箇所を指定する場合はこのチェックボックスをオンにします。
[顧客からの予測受取] チェックボックスがオフの場合、このフィールドは使用できません。
- [確認済予測の指定方法]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、[メッセージ] を選択します。次のシナリオでは、[確認済予測の使用] チェックボックスがオフになるためこのフィールドが使用できなくなります。
 - 委託
 - 顧客による供給計画 (ページ 15)
発注先別計画 (ページ 17) のシナリオの場合、業務環境に要求される値を選択します。

[確認済供給] タブ

- [供給の確認]
発注先が顧客に予測の確認を送信する場合、基本的にこのチェックボックスをオンにします。
- [確認済供給基準]
発注先の確認済供給の基準となる需要のタイプを定義する場合は、基本的に [確認済予測] を選択します。

- [供給範囲の確認]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは、基本的に可能な限り広いタイムフェンスを設定します。それ以外の場合は、業務環境で要求されるタイムフェンスを設定します。

[計画] タブ

- [補充基準]
完全 VMI (ページ 14) のシナリオでは基本的に、[確認済供給] を選択します。それ以外の場合は、業務環境で要求される値を選択します。
- ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションでは、管理倉庫を「実際」の VMI 倉庫の在庫レベルで更新する方法を指定できます。これは、次のシナリオに適用されます。
 - 発注先別計画 (ページ 17)
 - 顧客による倉庫管理 (ページ 18)
 - 委託次のフィールドについて検討します。
 - [在庫更新方法]
 - [入庫処理]
 - [納入時]
これらのフィールドの詳細については、管理倉庫を更新するには (ページ 53) を参照してください。
- 請求条件 (tctrm1145m000) セッションでは、請求の実施方法を指定できます。これらのフィールドは、組織の要求に従って入力することができます。これらのフィールドの詳細については、共通情報の条件のオンラインヘルプを参照してください。

ステップ 6: 販売契約

条件を販売契約にリンクします。販売契約を作成するときは、販売契約 (tdsls3500m000) セッションで次の操作を行います。

1. [販売先取引先] フィールドで、顧客を挿入します。
2. [条件 ID] フィールドで、適切な条件をリンクします。

倉庫管理の在庫所有権

品目の所有権が変更される場合、支払が生じるため請求が開始されます。

従来の非 VMI のシナリオでは、顧客が発注先から品目を受け取ると品目の所有権が発注先から顧客に変更されます。顧客は商品の入庫時に品目の支払を行う必要があります。

さまざまな外注シナリオでは、所有権は入庫、または出庫倉庫処理中に変更されません。これらの場合、所有権は顧客所有になります。外注シナリオの詳細については、外注の概要を参照してください。

販売業者管理在庫 (VMI) シナリオの場合、所有権は委託できます。所有権が委託される場合、所有権変更は時間ベース、または消費ベースになります。

- 消費ベース
顧客が商品を販売するために、または消費するために出庫すると、所有権が変わります。
- 時間ベース
所有権は次の処理の後しばらくして変更されます。
 - 顧客が商品を受け取る
 - 商品の最終出庫、または入庫

発注先が複数の種類の品目を顧客に納入する場合は、品目ごとにそれぞれ別々の契約や法的要件が適用される場合があります。時間ベースの所有権変更の場合、期間は顧客と発注先の契約で条件として規定されます。

詳細については、次の情報を参照してください。

- 消費ベースの所有権変更 (ページ 36)
- 時間ベースの所有権変更 (ページ 37)

条件

所有権の動作、つまり、商品の所有権が発注先から顧客に変わるのはどのような場合か、またはいつかといったことは、取引先間の契約で規定されます。契約の条件は、品目、取引先、または倉庫で定義できます。詳細は、次の情報を参照してください:「Infor LN 条件ユーザガイド」 (/guides/U9499A JA) の条件の概要

所有権の動作は、オーダ条件 (tctrm1130m000) セッションの [支払] フィールド、およびロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [入庫後の時間基準の所有権変更] および [最終処理後の時間基準の所有権変更] フィールドで定義します。

倉庫管理パッケージは、条件設定を使用して倉庫処理での所有権の処理方法を判断します。

共通情報で定義されている条件で使用されている次の用語と、倉庫管理の用語が異なる点に注意してください。

共通情報の用語	倉庫管理での用語
[貨物引換払]	会社所有
[使用払]	委託
[支払なし]	顧客所有

消費ベースの所有権変更

所有権変更が発注先と顧客間の契約に従って消費ベースの場合、商品の所有権は顧客が製造または販売のために品目を消費する際に発注先から顧客に変更されます。顧客は所有者になった後、商品の支払を実行する必要があります。

倉庫移動にかかわる VMI 倉庫からの委託品目の出庫は、発注先から顧客への商品の所有権の変更を伴う消費の場合とそうでない場合があります。

発注先の管理倉庫の更新と消費詳細について詳しくは、在庫消費処理 (ページ 59) と管理倉庫を更新するには (ページ 53) を参照してください。顧客の管理、または「実際」の VMI 倉庫の更新の詳細については、消費レコードおよび管理倉庫を更新するには (ページ 53) を参照してください。

消費基準

通常、発注先と顧客間の契約によって、出庫が消費かどうか判断されます。ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [倉庫移動時に使用] フィールドで、倉庫移動を消費とするかどうかを指定できます。

契約でカバーされていない出庫の場合、以下で出庫が消費かどうかを指定できます。

- 特定の倉庫の特定の品目に対する、倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッションの [倉庫移動で使用] フィールド
- 特定の倉庫に対する、倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [倉庫移動で使用] フィールド
- 特定の出庫オーダーラインに対する、出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの [倉庫移動で使用] フィールド

たとえば、ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [倉庫移動時に使用] フィールドが [クラスタ間のみ] に設定されており、委託在庫が消費される前に VMI 倉庫から同じクラスタ内の別の倉庫に移動される場合、所有者は発注先のままになります。在庫が VMI 倉庫から別のクラスタの工程倉庫に製造のために移動する場合、この移動は消費です。このため、顧客が所有者になります。

消費レコード

[倉庫移動時に使用]パラメータに従って出庫が消費である場合、消費のために商品を出庫する出庫オーダーが作成されるときに消費レコードを作成します。消費レコードは、委託消費 (whwmd2551m000) セッションに表示されます。

消費済商品を含む出荷が確認されると、または出庫オーダーラインに出荷手順が定義されていない場合、出庫勧告が発行され、消費レコードが更新されます。その後、消費レコードの状況は [引当済] から [使用済] に変わります。

消費レコードは、消費済商品を倉庫に入庫した元々の購買オーダーと入庫にリンクされます。

LNは、この情報と出荷所有権レコードまたは出庫勧告所有権レコードを使用して以下を作成します。

- 顧客が発注先に対して作成する、消費済商品の支払を処理する購買の買掛入庫。購買買掛入庫に基づいて、請求手順が開始されます。購買買掛入庫は、購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションに表示されます。
- 財務会計の統合取引

出庫勧告または出荷所有権レコードの詳細については、出庫勧告所有権 (whinh4128m000) および出荷ライン所有権 (whinh4138m000) を参照してください。

顧客が発注先に支払う必要がある購買価格は、オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] フィールドの設定で決まります。

LNで出庫する在庫を判断する方法については詳しくは、出庫する在庫を判断するには (ページ 41) を参照してください。

注意

消費のための出庫が販売側、つまり、発注先の管理倉庫で実行される場合、在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで消費レコードを作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)

時間ベースの所有権変更

委託商品の所有権変更が発注先と顧客間の契約に従って時間ベースの場合、在庫の所有権は以下のように変更されます。

- 法的要件に従った入庫後
- 発注先と顧客間の契約の規定に従った入庫後
- 最後の取引後。所有権は、入庫または出庫が実行されていない期間が数日続いた後に変更されます。これは、基本所有権ルールが委託であり、入庫や出庫 (消費) が契約で指定されている特定の期間行われていない場合に適用されます。

ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [入庫後の時間基準の所有権変更] および [最終処理後の時間基準の所有権変更] フィールドによって、品目、倉庫、または取引先 (これらの組合せ) の在庫所有権変更を最終入庫後と最終取引後のどちらにするのが決まります。

時間ベースの所有権変更を登録するために、在庫所有権変更オーダーが使用されます。

在庫所有権変更オーダー

所有権変更が時間ベースの委託在庫の所有権を変更するには、在庫所有権変更オーダーを生成する必要があります。在庫所有権変更オーダーは、時間基準所有権変更オーダーの生成 (whinh1200m100) セッションで生成できます。このセッションは、間隔を指定して自動的に実行できます。

この結果生成される変更オーダー、変更オーダーライン、あればライン処理の詳細が次のセッションに表示されます。

- 在庫所有権変更オーダー (whinh1100m000)
- 在庫所有権変更オーダーライン (whinh1110m000)
- 在庫所有権変更オーダー - 在庫移動 (whinh1115m000)
- 在庫変更オーダーの扱い単位処理 (whinh1113m000)

在庫所有権変更オーダー (whinh1100m000) セッションで、変更オーダーを個別に作成することもできます。

所有権変更を有効にして請求を開始するには、変更オーダーを処理する必要があります。変更オーダーは、在庫所有権変更オーダー (whinh1100m000) セッションで個別に処理できるほか、在庫所有権変更オーダーの処理 (whinh1200m000) セッションでバッチとして処理できます。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 在庫所有権変更オーダーを生成するには
- 在庫所有権変更オーダーを処理するには

在庫所有権変更オーダーを生成するには

在庫所有権変更オーダーを生成するために、次の処理が実行されます。

1. 委託入庫 (whwmd2550m000) セッションで、所有者、倉庫、および品目が時間基準所有権変更オーダーの生成 (whinh1200m100) セッションで入力した選択範囲と一致する入庫を選択します。
2. 最終取引後に所有権変更が一致する入庫については、最終取引後の所有権変更日を判断するにはを参照してください。所有権変更が最終入庫後の場合は以下を確認します。
 - [所有権移動日] があるかどうか
 - [所有権移動日] が [取引日] より前かどうか
 - 状況が [処理済] より低いかどうか
 - 所有権が [委託] かどうか
 - 所有者が購買元取引先と同じかどうか

3. 一致する入庫の場合、**出庫勧告**がある出庫オーダーに引き当てられていない入庫数量に対して在庫所有権変更オーダーを作成します。

出庫勧告がある場合、変更オーダーは作成されません。これら数量の所有権は、出庫オーダーに対して作成された出荷が確認済みになると変更されます。このような場合、所有権変更処理は実際には消費ベースの所有権変更 (ページ 36) になります。

4. 新しく作成された変更オーダーの場合は次のとおりです。
 - 倉庫の所有権登録レベルが、[保管場所]、[物的品目] または [物的品目および保管場所] の場合は、ユーザが品目の移送先保管場所を指定できるようにする必要があります。また、扱い単位構造にさまざまな所有者に属す品目が含まれている場合はその構造を調整できるようにする必要があります。このためには、在庫所有権変更オーダー - 在庫移動 (whinh1115m000) セッションで変更オーダー処理ラインを作成します。

- 委託消費 (whwmd2551m000) セッションで消費レコードを作成します。このレコードは変更オーダーと同じです。[オーダーの消費タイプ] フィールドおよび [消費オーダー] フィールドは、変更オーダーを参照します。消費レコードの状況は、[引当済] です。
- [作成オーダーを直接処理] チェックボックスがオンの場合、在庫所有権変更オーダーを処理するにはを参照してください。

モジュール

最終取引後の所有権変更日を判断するには

所有権変更が条件に従って最終取引後の場合、所有権変更日を判断するために、次の処理が実行されます。

1. 入庫ごとに、入庫日と消費日から最新の入庫日、または消費日を選択します。
2. 見つかった入庫日、または消費日に、ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [期間] フィールドで指定した期間を加えます。
3. その結果得られた日付が [日付] フィールドで指定した日付、またはそれより前の場合、在庫所有権変更オーダーを生成します。

これ以降の手順については、在庫所有権変更オーダーを生成するにはのステップ 3 以降を参照してください。

在庫所有権変更オーダーを処理するには

変更オーダーは、在庫所有権変更オーダー (whinh1100m000) セッションで個別に処理できるほか、在庫所有権変更オーダーの処理 (whinh1200m000) セッションでバッチとして処理できます。

変更オーダーを個別に処理するには、在庫所有権変更オーダー (whinh1100m000) セッションで処理する変更オーダーを選択し、適切なメニューの [処理] を選択します。

変更オーダーをバッチで処理するには、在庫所有権変更オーダーの処理 (whinh1200m000) セッションで選択範囲フィールドを使用して処理する変更オーダーを選択し、[処理] をクリックします。

在庫所有権変更オーダーを生成するために、次の処理が実行されます。

1. 選択した変更オーダーの所有権を変更します。
2. 委託消費 (whwmd2551m000) セッションで消費レコードを更新します。状況が [引当済] から [使用済] に変更されます。
3. 購買の買掛入庫を作成して品目の支払を開始します。
4. 財務会計で統合取引を作成します。
5. 倉庫の所有権登録レベルが、[保管場所]、[物的品目] または [物的品目および保管場所] の場合、次のようになります。
 - 在庫所有権変更オーダー - 在庫移動 (whinh1115m000) セッションでユーザによって指定されている場合は、扱い単位の所有者を変更し、扱い単位を分割します。
 - 在庫所有権変更オーダーの処理 (whinh1200m000) セッションで指定されている場合は、扱い単位ラベルを出力します。
 - 在庫所有権変更オーダーライン (whinh1110m000) セッションでユーザによって指定されているように、簡易在庫移動を生成および処理して、品目または扱い単位を非所有移送先保管場所に移動します。
 - 開始保管場所と移送先保管場所で、品目数量を調整します。

注意

内部および外部支払関係が存在する場合、在庫所有権変更オーダの処理 (whinh1200m000) セッションを複数回実行して選択範囲のすべての変更オーダを処理する必要があります。

たとえば、次の両者間にタイプが「使用払」の支払関係があります。

- 外部取引先 A と購買オフィス B の内部取引先
- 購買オフィス B と委託倉庫 C

条件に従って、取引先 A の所有権変更は入庫 10 日後です。

取引先 A から委託倉庫 C に品目 X を 200 個入庫する場合、委託入庫 (whwmd2550m000) セッションで 2 つの入庫が生成されます。

入庫	品目	数量	所有者	購買元の取引先	入庫日	所有権変更日	目的地の所有者
1	X	200	取引先 A	BP A	3 月 12 日	3 月 22 日	購買オフィス B
2	X	200	取引先 A	購買オフィス B の内部取引先	3 月 12 日	3 月 22 日	倉庫 C

変更オーダが 3 月 22 日に処理されると、入庫 1 の変更オーダが処理されます。入庫 2 の変更オーダは、購買元取引先と所有者が同じでない場合は所有権変更が認められないため処理できません。

入庫 1 の変更オーダの処理後、購買オフィス B が所有者になります。この結果、入庫 2 については、所有者が購買オフィス B の内部取引先であるため、所有者と購買元取引先は同じになります。次に同じ選択範囲の変更オーダを処理すると、入庫 2 の変更オーダも対象になります。

倉庫管理での所有権登録の設定

品目の所有権登録を個別に実行できるようにするには、品目が**扱い単位**に含まれている必要があります。倉庫の各扱い単位は表示することができ、扱い単位データには品目の所有者への参照が含まれています。

品目の所有権データは扱い単位にリストされます。扱い単位は、入庫ライン所有権 (whinh3521m000) セッションから所有権データを取得します。このため、倉庫管理処理を通過し、在庫にある品目の所有権を追跡するには、扱い単位の自動生成が必要になります。

この設定が正しく機能するためには、次のセッションの [登録レベル] フィールドの値に、[物的品目] または [物的品目および保管場所] を選択する必要があります。

- 倉庫別品目データ (whwmd2110s000)
- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4100s000)
- 品目 - 倉庫管理デフォルト (whwmd4101s000)

さらに、扱い単位が、倉庫と品目の組合せで入庫、入庫および出庫検査、出荷で使用されている必要があります。

注意

所有権登録レベルが、[保管場所] でも、[物的品目および保管場所] でもなく、保管場所またはストックポイントがブロックされている場合、特定の所有者の在庫がブロックされているかどうかを判断できません。所有権登録レベルが、[保管場所] でも、[物的品目] でも、[物的品目および保管場所] でもなく、扱い単位がブロックされている場合、特定の所有者の在庫がブロックされているかどうかを判断できません。一般に、所有権登録レベルが [倉庫] の場合、マニュアルブロックで特定の所有者の在庫がブロックされることはありません。

VMI 倉庫設定

VMI 倉庫の倉庫管理の実行者、つまり、顧客と発注先のいずれかを指定するには、倉庫 (whwmd2500m000) セッションで [在庫管理] チェックボックスをオン、またはオフにします。完全 VMI のシナリオでは、このチェックボックスを発注先の ERP システムでオンにし、顧客の ERP システムでオフにします (顧客の場合、これは管理倉庫)。さらに、顧客のシステムで、発注先である取引先を倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [取引先] フィールドに入力します。

出庫する在庫を判断するには

LN では、出庫オーダーに一覧表示されている品目を出庫する必要がある在庫を判断するために、次のフィールドが確認されます。

1. 所有権フィールド
出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの所有権フィールド、および倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッションの [出庫優先順位] フィールドの設定によって、出庫オーダーラインに対して、**会社所有**、**委託**、または**顧客所有**の在庫をピッキングする必要があるかが判断されます。委託および顧客所有在庫の場合、これらのフィールドによって商品をピッキングする取引先の在庫も判断されます。詳細は、次の情報を参照してください: 所有権を取得可能な利用可能在庫の検索 (ページ 43)
2. 倉庫移動で使用
[倉庫移動で使用] フィールドの値で、出庫品目の所有権が発注先から顧客に変わる場合に、その品目の出庫が消費かどうか判断されます。詳細は、次の情報を参照してください: 消費ベースの所有権変更 (ページ 36)
3. ソーシングフィールド
ある品目が複数の発注先によって供給されている場合、ソーシングフィールドの値によって消費のための出庫が実行される取引先の在庫が決まります。詳細は、次の情報を参照してください: 消費のソーシングルール
4. [出庫方法]
出庫方法では、所有権フィールド (このリストの最初の品目を参照) の値を考慮しながら、倉庫の保管場所の在庫日付または出庫優先順位にもとづいて出庫する必要がある在庫を決定します。

注意

約定引当済在庫または引当済在庫は、対象の在庫約定や引当に関連しているオーダまたは取引先に独占的に予約されています。詳細については、在庫約定および最小在庫および最大在庫を指定するにはを参照してください。

出庫オーダライン上のさまざまな所有者の在庫

出庫オーダラインには、さまざまな所有者の品目を含めることができます。たとえば、出庫戦略値が [優先] の場合、優先所有者の利用可能な在庫が特定の出庫オーダラインについて不十分であれば、他の所有者や会社の在庫を出庫します。出庫オーダラインに一覧表示されている品目の所有権は、出庫勧告所有権 (whinh4128m000) セッションでメンテナンスします。このセッションおよび出荷ライン所有権 (whinh4138m000) セッションでは、上記のフィールド設定によって判断される出庫オーダライン、または出荷ラインの所有権をマニュアルで調整できます。

消費のソーシングルール

同じ品目を複数の発注先が供給し、結果として複数の取引先がそれぞれ所有している在庫が倉庫に保管されている場合があります。LN では、消費をどの発注先から実行するのかを判断するために、品目を供給している取引先の [優先順位]、ソーシング率、および [累計消費率] が確認されます。さらに、出庫戦略も確認されます。

出庫戦略によるソーシング率の使用の判断

複数の取引先が同じ品目を供給している場合、出庫オーダラインの [出庫戦略] フィールドの値によって次のようになります。

- [フリー] の場合、購買元取引先のソーシング率と累計消費率によって消費のために在庫品目を出庫する次の取引先が決まります。
- [優先] で、優先取引先が所有する利用可能な在庫がない場合、ソーシング率と消費率によってどの取引先の在庫から消費のための出庫を実行するのかが決まります。
- [制限付] の場合、取引先の判断にソーシング率と消費率は使用されません。

ソーシング率と消費率

ソーシングの優先順位とソーシング率は、取引先間の合意にもとづきます。ソーシング率とソーシングの優先順位は、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションでメンテナンスできます。詳細については、ソーシングおよびソーシング率を使用するにはを参照してください。取引先別消費率 (whinr1135m000) セッションでは、取引先の実際の消費率を表示できます。

一般的に、消費は取引先のソーシング率とそれに関連する累計消費率に従って、優先順位 1 の取引先から出庫されます。各出庫には、1 つの取引先の在庫しか含まれていません。

消費が必要になると、ソーシング率が実際の累計消費率を最も超えている取引先が選択されます。つまり、対象となる取引先のうち、実際の消費が合意消費率を最も下回っている取引先ということになります。このため、実際の消費率が合意ソーシング率を満たすように、または少なくとも近づくようにするために、この取引先は次の消費を供給する必要があります。これについては、消費出庫の取引先の選択 (ページ 45) で説明します。

選択した取引先が所有する利用可能な在庫がない、または不足している

選択した優先順位 1 の取引先が所有する利用可能な在庫がない場合、ソーシングルールを適用せずに取引先を選択します。

選択した優先順位 1 の取引先が所有する利用可能な在庫が不足している場合、利用可能な在庫は出庫した上で、その残りにソーシングルールを適用せずに他の取引先が所有する在庫を引き当てます。

優先順位 1 以外の取引先による出庫

何らかの理由で十分な在庫を所有している優先順位 1 の取引先がない場合、顧客は別の優先順位 1 以外の取引先から供給を受ける必要があります。この在庫は、優先順位 1 の取引先からの通常の出庫が再開できるようになるまでに使い切る必要があります。

例

会社 A の通常の優先順位 1 の発注先が在庫を切らしているため、会社 A は発注先 X から購入します。発注先 X の在庫をすべて消費する前に、ソーシングルールに従って優先順位 1 の取引先からの通常の供給が再開されると、発注先 X の在庫は使い切れなくなります。

所有権を取得可能な利用可能な在庫の検索

次のフィールドは、出庫オーダーラインのピッキング予定の在庫を指定します。

出庫オーダーライン (whinh2120m000)

- [支払]
- [内部支払]
- [所有権]
- [出庫戦略]
- [出庫所有権]
- [出庫元取引先]

倉庫別品目データ (whwmd2110s000)

- [出庫優先順位]

[支払] または [内部支払] フィールドの値によって、[所有権] フィールドの値が指定され、出庫に必要な在庫が決定されます。同様に、[所有権] フィールドが顧客所有の場合、ユーザが [出庫元取引先] フィールドに指定されている取引先の所有在庫のみを出庫します。

支払フィールドと対応する所有権フィールドの値の詳細については、[支払] および [内部支払] フィールドを参照してください。

その他の [所有権] フィールドの値は、出庫する在庫の所有権には影響しません。この値は、次のフィールドの値によって判定されます。

- [出庫戦略]

- [出庫元取引先]
- [出庫所有権]
- [出庫優先順位]

詳細は、次の情報を参照してください: [出庫戦略]、[出庫所有権]、および [出庫優先順位] フィールド

[支払] および [内部支払] フィールド

[支払] または [内部支払] フィールド [所有権] フィールドの対応する値の値

[貨物引換払]	[会社所有]
[使用払]	[委託]
[支払なし]	[顧客所有]

[出庫戦略]、[出庫所有権]、および [出庫優先順位] フィールド

次の表は、[出庫戦略]、[出庫所有権]、および [出庫優先順位] フィールドの依存関係と、対応する出庫勧告を示しています。

フィールド内の値: フィールド内の対応する値:

[出庫戦略]	[出庫所有権]	[出庫優先順位]
[フリー]	[会社所有または委託]	<ul style="list-style-type: none"> ■ [フリー] 所有権の制限がない出庫勧告 ■ [所有在庫優先] 会社所有の在庫が十分でない場合、会社所有の在庫を優先し、次に非所有の在庫を引き当てる出庫勧告 ■ [非所有在庫優先] 会社非所有の在庫が十分でない場合、会社非所有の在庫を優先し、次に会社所有の在庫を引き当てる出庫勧告
	[委託]: 所有権が委託の在庫に対す	出庫優先順位は無効になります。 る出庫勧告
	[会社所有]: 所有権が会社所有の在	出庫優先順位は無効になります。 庫に対する出庫勧告

[優先]	[会社所有または委託]	<ul style="list-style-type: none"> ■ [フリー] 会社非所有の在庫が十分でない場合、指定された取引先の委託在庫を優先し、次に会社所有の在庫を引き当てる出庫勧告 ■ [所有在庫優先] 指定された取引先の委託在庫が十分でない場合に指定された取引先の委託在庫を優先し、次に会社在庫を引当てる出庫勧告 ■ [非所有在庫優先] 指定された取引先の会社在庫が十分でない場合に、指定された取引先の委託在庫を優先し、次に委託在庫を引当てる出庫勧告。十分な委託在庫がない場合には、所有権の制限なしに出庫勧告が行われます。
------	-------------	--

	<p>[委託]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された取引先の委託在庫に対する出庫勧告 2. 指定された取引先の委託在庫がない場合には、委託在庫に対する出庫勧告 	出庫優先順位は無効になります。
--	--	-----------------

[制限付]	[制限付]: [出庫元取引先] フィールドに指定された取引先からの顧客所有在庫に対する出庫勧告	出庫優先順位は無効になります。
-------	---	-----------------

消費出庫の取引先の選択

同じ品目を供給する発注先が多数あり、これら取引先が所有する在庫が倉庫に保存されている場合、どの在庫から消費のために品目を出庫するのかが判断されます。次の例は、LNによって取引先が選択される様子を示します。

品目 X は購買元取引先 BP1、BP2、BP3 から供給されます。各取引先の品目 X のソーシング率は次のとおりです。

購買元の取引先	ソーシング優先順位	ソーシング率
BP1	1	15
BP2	1	35
BP3	1	50

次の表は、消費用に出庫している取引先、取引先別の累計消費数量、および累計消費率を示します。最初の消費では、前に消費が実行されていないものと想定しています。

消費が必要になると、ソーシング率が実際の累計消費率を最も超えている取引先が選択されます。このため、実際の消費率が合意ソーシング率を満たすように、または少なくとも近づくようにするために、この取引先は次の消費を供給する必要があります。

次の表では、これを実際の消費率とソーシング率のマイナスの差異として示しています。実際の消費率とソーシング率の差異がマイナスの場合、ソーシング率が実際の消費率を超えています。最もマイナスの差異が大きな取引先が、次の消費に対して出庫します。

消費	消費済 BP1		消費済 BP2		消費済 BP3		説明
	数量	%	数量	%	数量	%	
100	0	0%	0	0	100	100	最初の消費前、各取引先の消費率は0%です。実際の消費率とソーシング率の差異が最も大きいのはBP3 (0 - 50 = -50) です。このため、最初の消費である100個の品目XはBP3が所有する在庫から出庫します。
150	0	0	150	60	100	40	最初の消費後、実際の消費率と

							ソーシング率の差異が最も大きいのは BP2 (0-35 = -35) です (BP1: 0 - 15 = -15、BP3: 100-50 = 50)。このため、150 個の品目 X は BP2 から供給されます。
50	50	16.7	150	50	100	33.3	2 回目の消費後、実際の消費率とソーシング率の差異が最も大きいのは BP1 (0 - 15 = -15) です (BP2: 60 - 35 = 25、BP3: 40 - 50 = -10)。このため、50 個の品目 X は BP1 から供給されます。
150	50	11.1	150	33.3	250	55.6	3 回目の消費後、実際の消費率とソーシング率の差異が最も大きいのは BP3 (33.350 = -16.7) です (BP1: 16.7 - 15 = 1.7、BP2: 50 - 35 =

							15)。このため、150個の品目 X は BP3 から供給されます。
75	125	23.8	150	28.6	250	47.6	4 回目の消費後、実際の消費率とソーシング率の差異が最も大きいのは BP1 (11.1 - 15 = -3.9) です (BP2: 33.3 - 35 = -1.7、BP3: 55.6 - 50 = 5.6)。このため、75個の品目 X は BP1 から供給されます。

消費の返品

消費のために出庫した品目を倉庫に返品する場合があります。たとえば、製造で実際に使用した数量が出庫数量よりも少なかった場合です。このような品目は非所有在庫または所有在庫に返品されます。これは、各倉庫に保存されている各品目の有効な条件、または設定によって決まります。

非所有在庫は、顧客所有、または品目を元々出庫した発注先が所有する委託在庫です。

オーダ条件 (tctrm1130m000) セッションの [倉庫への返品的所有権] フィールドでは、契約に従って、品目を所有在庫と非所有在庫のどちらに返品する必要があるかを指定できます。

以下にリストするセッションの [倉庫への返品的所有権] フィールドでは、有効な条件が適用されない場合に、各倉庫に保存されている品目ごとに、所有在庫と非所有在庫のどちらに返品する必要があるのかを指定できます。

- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4100s000)
- 品目 - 倉庫管理デフォルト (whwmd4101s000)
- 倉庫別品目データ (whwmd2510m000)
- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4500m000)
- 品目 - 倉庫管理デフォルト (whwmd4501m000)

- 倉庫および品目の有効パラメータの更新 (whwmd2200m000)

見積資材 (ticst0101m000) セッションの [返品的所有権] フィールドでは、製造オーダーラインごとに、工程エンジニアが所有在庫と非所有在庫のどちらに返品品目を保存する必要があるかを判断できます。たとえば、工程エンジニアが倉庫から出庫した品目に損傷があることに気づいた場合、エンジニアはこれら品目を非所有在庫に返品できないものとして判断できます。

消費の返品の請求

消費済品目を非所有在庫に返品する場合、LN はマイナス値の消費レコードを作成します。たとえば、顧客が 200 品目を出庫して 10 品目を非所有在庫に返品する場合、190 品目は請求され、10 品目にはマイナス消費が作成されます。

所有者間での返品の分配

品目がさまざまな所有者からピッキングされており、それらの一部が返品される場合、返品品目は品目を出庫した所有者間で分配されます。たとえば、ある顧客が所有在庫から 190 品目、非所有在庫から 10 品目を出庫し、10 品目を返品する場合、所有在庫と非所有在庫に 5 品目ずつ返品されます。

LN は出庫戦略に従って品目を出庫します。詳細は、次の情報を参照してください: 出庫する在庫を判断するには (ページ 41)

所有権レコード

所有権レコードはオブジェクトセッションの適切なメニューからアクセスできる所有権セッションでメンテナンスします。

オブジェクトセッション	所有権セッション
入庫ライン (whinh3112s000)	入庫ライン所有権 (whinh3521m000)
出庫勧告 (whinh4525m000)	出庫勧告所有権 (whinh4128m000)
出荷 - ライン (whinh4131m000)	出荷ライン所有権 (whinh4138m000)
循環棚卸オーダーライン (whinh5101m000)	循環棚卸オーダーライン所有権 (whinh5105m000)
調整オーダーライン (whinh5121m000)	調整オーダーライン所有権 (whinh5125m000)

たとえば、入庫ライン A に 15 個の品目 B が一覧表示されており、入庫ライン所有権 (whinh3521m000) セッションに入庫ライン A について次の所有権レコードがあるとします。

所有権レコードの 連番	品目	数量	入庫先在庫の 所有者
1	B	4	取引先 C
2	B	6	取引先 D
3	B	5	会社所有

所有権レコードは連番で特定されます。新しい所有権レコード作成されると、所有権連番が生成されます。

所有権レコードの生成、またはマニュアル作成

所有権レコードは自動的に生成、またはマニュアルで作成されます。所有権レコードがマニュアルと自動のどちらで作成されるか、また所有権レコードの変更が許可されるかどうかは、所有権レコードに関連付けられているオーダーラインの所有権設定によって決まります。詳細については、関連する所有権セッションのヘルプを参照してください。

注意

あるオブジェクトの所有権レコードの合計数量は、そのオブジェクトの数量を超えることはできません。前の例では、入庫ライン A に 15 個の品目 B が一覧表示されており、3 つの所有権レコードの合計数量も 15 です。このため、入庫ライン A に所有権レコードをさらに作成することはできません。所有権レコードの合計数量が 10 の場合、入庫ライン A の残りの 5 品目について所有権レコードを作成できます。

所有権レコードをマニュアルで作成するには

所有権レコードを作成する手順は次のとおりです。

1. オブジェクトセッションの適切なメニューから [所有権] を選択し、所有権セッションを開きます。オブジェクトセッションと対応する所有権セッションについては、前の表を参照してください。
2. 所有権セッションで、 をクリックします。
3. 所有権、所有者、品目数量、その他の詳細を必要に応じて入力します。
4. データを保存します。
5. 必要であれば、 をクリックし、別の所有権レコードに入力します。

調整オーダーラインにマニュアルで作成する所有権レコード

調整オーダーライン所有権レコードをマニュアルで作成する場合は、次の所有権タイプにマイナス数量を入力できます。

- 委託
- 顧客所有

- 会社所有

委託在庫のマイナス調整の場合、委託消費 (whwmd2551m000) セッションで消費レコードを作成します。ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [取引先による在庫不一致の調整] チェックボックスが、委託在庫を入庫したときの元になった購買オーダーに関連する条件に対してオンの場合、顧客、つまり、調整を実行するパーティは調整済委託在庫の支払を実行する必要があります。消費レコードの請求を開始する方法の詳細については、消費レコードを参照してください。

ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [取引先による在庫不一致の調整] チェックボックスが関連する条件に対してオフの場合、発注先は調整済在庫の支払を実行し、結果としてそれぞれの棚卸資産評価額を下げます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫調整オーダーを処理するには

顧客所有在庫のマイナス調整は例外です。外注先、つまり、調整を実行するパーティは、調整済顧客所有在庫の支払を顧客に対して実行する必要があります。LNにはこのような状況をサポートする標準機能が用意されていないため、支払はマニュアルで実行する必要があります。

会社所有在庫のマイナス調整は、在庫調整オーダーを処理するにはの説明にあるように処理されません。

調整オーダーライン所有権レコードをマニュアルで作成する場合は、次の所有権タイプにプラス数量を入力できます。

- 委託
- 会社所有

顧客所有在庫のプラス調整は許可されません。

管理倉庫を更新するには

さまざまな VMI シナリオで、VMI 倉庫または委託倉庫を管理するパーティは、その倉庫を各自システムの標準倉庫として定義します。その他の、たとえば、倉庫に在庫を所有しているパーティや供給計画を担当しているパーティは、すべての活動を 1 つ 1 つ倉庫処理に登録する必要はありません。このようなパーティは、供給計画や請求のために在庫レベルの概要さえあれば良いため、倉庫をそれぞれの ERP システムに管理倉庫として定義します。

顧客が倉庫を管理している場合、倉庫は発注先の ERP システムに管理倉庫として定義されます。発注先が倉庫を管理している場合、倉庫は顧客の ERP システムに管理倉庫として定義されます。

管理倉庫は、「実際の」倉庫の在庫レベルで定期的に更新する必要があります。これらの更新の頻度と必要な精度レベルは、適用できる VMI シナリオによって決まります。詳細は、次の情報を参照してください: VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13)。

通常、発注先の管理倉庫では、実際の倉庫で入庫を実行した後に、転送オーダーまたは入庫納入メッセージによって入庫が登録されます。

消費は、顧客からの消費メッセージによってトリガされた消費レコードを通して登録されます。消費レコードを処理すると、請求処理が開始され (該当する場合)、管理倉庫の在庫が削減されます。在庫削減を登録するために、[販売 (マニュアル)] タイプの販売オーダーと出荷が作成されます。これは品目 - 倉庫 - 在庫処理 (whinr1510m000) セッションと在庫消費 (whina1514m000) セッションで表示できます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)。

顧客の管理倉庫は、実際の倉庫で入庫を実行した後、入庫納入メッセージによってトリガされた自動入庫によって更新されます。消費は、顧客の発生元製造オーダーまたは販売オーダーに基づく出庫オーダーラインの出庫を通して登録されます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫更新方法、消費レコード。

在庫更新方法

ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [在庫更新方法] フィールドでは、VMI 倉庫を更新する次の方法を選択できます。

- [入庫および消費]
- [在庫残高]
- [入庫、消費および在庫残高]
- [消費としての在庫残高]

[入庫および消費]

このオプションを選択すると、VMI 倉庫の入庫と消費が管理倉庫の在庫レベルを更新する方法を制御する次のフィールドが有効になります。

- [入庫処理]
- [在庫消費メッセージ間隔]
- [在庫消費総計レベル]

また、発注先の ERP システムでは、VMI 倉庫の補充時に消費レコードが作成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)。

[入庫処理]

[入庫処理] フィールドのオプションによって、管理倉庫で VMI 倉庫の入庫を更新する方法が決まります。

- [通信]
顧客または発注先の管理倉庫の在庫は、メッセージ、たとえば、ReceiveDelivery メッセージや InventoryConsumption メッセージの受信後に更新されます。これらは、OAGIS ベースの XML メッセージです。これらのメッセージを受信すると、管理倉庫で入庫または出庫の作成をトリガできます。
詳細は、次の情報を参照してください:
 - 入庫納入メッセージ
 - 在庫消費 - メッセージ
 - VMI ビジネスシナリオの概要 (ページ 13) に移動します。
- [自動 (納入時)]
顧客の管理倉庫に入庫が作成され自動的に確認されます。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫 (ページ 55) および自動入庫の設定 (ページ 57)
- [自動 (入庫済出荷済)]
発注先の管理倉庫は、転送オーダーによって更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫 (ページ 55)。

[在庫残高]

現行バージョンでは使用されていません。

[入庫、消費および在庫残高]

在庫レベルは、完了済の入庫および消費、ならびに在庫レポートに基づいて更新されます。在庫レポートは、主に調整目的で使用されます。現行バージョンでは、在庫残高メッセージは使用されていません。

また、発注先の ERP システムでは、VMI 倉庫の補充時に消費レコードが作成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 59)。

[消費としての在庫残高]

現行バージョンでは使用されていません。

自動入庫

自動入庫は、通常の(非管理)倉庫を「実際の」VMI倉庫に入庫した在庫で更新します。自動入庫を使用して入庫処理を制限します。

顧客の管理倉庫

顧客の管理倉庫への自動入庫については、自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションで自動入庫レコードを生成できます。

生成された入庫レコードは、自動入庫 (whinh3523m000) セッションに表示されます。これらのレコードには、入庫が実行された倉庫、品目数量、自動入庫が実行された日付などのデータが含まれています。自動入庫日になると、LN は管理倉庫で自動入庫を実行します。

自動入庫は、購買オーダー、契約在庫レベル、または需要予測に基づきます。

発注先が顧客用の供給計画を実行する場合、自動入庫は顧客が発注先に送付する需要予測にリストされている数量、または需要予測に基づいて発注先が顧客に送付する確認済供給を基準とすることができます。

自動入庫の作成処理に関する詳細は、自動入庫処理 (ページ 55)を参照してください。

さまざまなパラメータによって、自動入庫が作成される方法が決まります。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫の設定 (ページ 57)

発注先の管理倉庫

この状況では、発注先が補充を計画し、顧客によって管理されている倉庫を補充します。ここで倉庫は倉庫は実在の/物理的な倉庫です。発注先のシステムで、倉庫は管理倉庫として定義されず。発注先は、出荷した数量と顧客が受け取った数量が同じであると想定します。

発注先の管理倉庫は、転送オーダーによって更新されます。発注先は、商品を出庫して「実際の」倉庫に補充する際、管理倉庫に入庫する転送オーダーを作成します。発注先が転送オーダーの出荷を確認すると、LN は転送オーダーに基づいて入庫を作成し、自動的に確認します。入庫数量は、出荷の確認済数量と等しくなります。

自動入庫処理

自動入庫レコードの作成

顧客の管理倉庫への自動入庫の作成で、LN は以下を実行します。

1. 自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションで指定した選択にもとづいて、購買元取引先、倉庫、品目の組合せを作成します。このデータを倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッション、および品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションから取得します。
2. これらの組合せの条件で自動入庫設定を確認します。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫の設定 (ページ 57)

3. 自動入庫 (whinh3523m000) セッションでこれら組合せの自動入庫レコードを作成します。
自動入庫レコードの最初の状況は、[オープン] です。

入庫レコード基準

自動入庫レコードが作成される方法、およびそれらに含まれるデータは、自動入庫レコードが基準とするデータのタイプによって決まります。基準データによって以下のようになります。

- 購買オーダー
LN での処理:
 - a. 自動入庫の設定 (ページ 57)の説明にあるように、自動入庫日を計算します。
 - b. これらを自動入庫レコードに保存します。
 - c. 自動入庫日に入庫を実際に行う際に、入庫数量を自動入庫レコードに追加します。
自動入庫の実行を参照してください。
- 予測需要
LN での処理:
 - a. 企業計画パッケージから計画入庫数量を取得します。
 - b. これらを、自動入庫 (whinh3523m000) セッションの次のフィールドに保存します。
 - [計画入庫数量 (入庫単位)]
 - [計画入庫数量 (棚卸単位)]
 - c. 企業計画から自動入庫日を取得するか、条件から入庫間隔を取得します。
- 契約在庫レベル
LN での処理:
 - a. 条件で定義されている納入時から自動入庫日を計算します。
 - b. 条件から自動入庫日の計画在庫レベルを取得します。
 - c. 自動入庫 (whinh3523m000) セッションの [自動入庫日] フィールド、および [計画在庫レベル] フィールドにそれぞれ、自動入庫日と計画在庫日を保存します。

自動入庫の実行

自動入庫日に、自動入庫レコードの入庫が次のように実行されます。

1. 自動入庫レコードに倉庫管理入庫ラインを作成します。
2. 自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションでユーザが指定した取引先、倉庫、品目、および日付範囲に一致する購買オーダーに入庫ラインをリンクします。
3. 一致する購買オーダーがない場合、オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [入庫トリガオーダー] フィールドに従って購買オーダーを作成します。このフィールドの値が [使用不可] の場合、エラーメッセージが表示され、自動入庫レコードに対する自動入庫は実行されません。
自動入庫が予測需要、または契約在庫レベルにもとづいている場合、購買オーダーはありません。詳細は、次の情報を参照してください: 購買オーダー、予測需要、在庫レベル
4. 存在しない場合、少量ロット、またはシリアル番号を生成します。

5. ロット/シリアル登録テンプレートに従って、多量シナリオロットまたはシリアル番号を生成します。詳細は、次の情報を参照してください: ロット/シリアル登録テンプレート
6. 自動入庫レコードを確認します。
7. 自動入庫 (whinh3523m000) セッションで、自動入庫レコードの状況を設定して入庫数量を表示します。
8. 自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションで指定した日付範囲内で、LN は自動入庫日を探します。自動入庫日になると、その日の自動入庫が実行されます。自動入庫日になるまで、または日付範囲が期限切れの場合、処理は休止します。

購買オーダー、予測需要、在庫レベル

入庫予定数量を取得する方法は、自動入庫レコードが基準とするデータのタイプによって決まります。基準データによって以下のようになります。

- 購買オーダー
LN での処理:
 - a. 入庫レコードについて取得されている購買オーダーを確認します。
 - b. 入庫レコード基準で説明されているように、購買オーダー数量を入庫します。
- 予測需要
LN での処理:
 - a. 自動入庫レコードの購買オーダーでトリガされる入庫を作成します。
 - b. これらを倉庫に入庫します。入庫予定数量は、自動入庫 (whinh3523m000) セッションの [計画入庫数量 (入庫単位)] フィールドおよび [計画入庫数量 (棚卸単位)] フィールドから取得されます。詳細は、次の情報を参照してください: 入庫レコード基準
- 契約在庫レベル
LN での処理:
 - a. 自動入庫レコードの購買オーダーでトリガされる入庫を作成します。
 - b. これらを倉庫に入庫します。
 - c. 自動入庫 (whinh3523m000) セッションの [計画在庫レベル] フィールドの計画在庫レベルと入庫倉庫の手持在庫を比較して、予定入庫数量を判断します。自動入庫日の在庫レベルが契約在庫レベルに収まっている場合、LN は入庫を実行しません。

自動入庫の設定

顧客の管理倉庫に自動入庫を作成する場合、共通情報パッケージの条件モジュールで次のように設定されている必要があります。

- 条件がアクティブな購買契約にリンクされている。
- 条件の期限が切れていない。
自動入庫の開始 (whinh3223m000) セッションでユーザが指定する選択範囲に対して、有効な条件セットを複数指定できます。条件には発効日と有効期限があります。条件が部分的に重複する場合、つまり、発効日と有効期限の範囲が重複している場合、LN は最も新しい発効日の条件を選択します。

- ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの以下の設定:
 - [在庫更新方法] フィールドの値は、次のいずれかになります。
 - [入庫および消費]
 - [入庫、消費および在庫残高]
 - [入庫処理] の値が [自動 (納入時)]
 - [納入時] フィールドによって、自動入庫の作成が購買オーダー、需要予測、在庫レベルのどれにもとづくかが決まります。値によって次のようになります。
 - [オーダーおよびスケジュール] の場合、入庫レコードの作成は購買オーダーにもとづきます。
 - [予測または在庫レベル] の場合、入庫レコードの作成は需要予測または在庫レベルにもとづきます。
- 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションで、[予測外倉庫入庫に対するオーダーを生成] チェックボックスがオン
- オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションで、[入庫トリガオーダー] フィールドの値が [購買オーダー] または [購買 (マニュアル) オーダー]

購買オーダーにもとづく自動入庫

オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの設定により、次のようになります。

- [確認の使用] チェックボックスがオンの場合、自動入庫の作成では確認済購買オーダーのみが使用されます。このチェックボックスがオフの場合は、確認済と未確認の両方の購買オーダーが使用されます。
- ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [入庫間隔] フィールドで入庫間隔を定義する場合、LN では自動入庫日を判断するためにこの間隔が使用されます。自動入庫日は、LN が自動入庫を実行する日付です。
入庫間隔間に作成された購買オーダーは、次の自動入庫日まで考慮されません。
入庫間隔が定義されていない場合、購買オーダーの計画入庫日を使用して自動入庫日が判断されます。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫処理 (ページ 55)

需要予測にもとづく自動入庫

自動入庫が需要予測にもとづいている必要がある場合は、計画条件 (tctrm1135m000) セッションで次を実行します。

- [発注先別供給計画] チェックボックスをオンにする
- 自動入庫が確認済供給のみにもとづいている必要がある場合、[確認済供給の使用] チェックボックスをオンする
- [補充基準] フィールドでは、[マニュアル] または [在庫レベル] を選択しない
- ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [入庫間隔] フィールドで入庫間隔を定義する場合、LN では自動入庫日を判断するためにこの間隔が使用されます。自動入庫日は、LN が自動入庫を実行する日付です。
入庫間隔が定義されていない場合、企業計画の計画入庫日を使用して自動入庫日が判断されます。詳細は、次の情報を参照してください: 自動入庫処理 (ページ 55)

在庫レベルにもとづく自動入庫

自動入庫が契約在庫レベルにもとづいている必要がある場合は、計画条件 (tctrm1135m000) セッションで次を実行します。

- [発注先別供給計画] チェックボックスをオンにする
- [予測を発注先に送信] チェックボックスをオンにする
- [補充基準] フィールドで、[マニュアル] または [在庫レベル] を選択する
- [納入時] フィールドでパターンコードを選択する
- [在庫レベル] タブのフィールドで、最小および/または最大レベルを定義する

在庫消費処理

販売業者管理在庫 (VMI) および外注環境では、発注先または製造元の管理倉庫で消費データを表示しメンテナンスするために、消費が記録されます。この倉庫は、顧客または外注先の倉庫を顧客/外注先からミラーし、発注先/製造元により供給された資材を消費します。

在庫消費の処理には、これらの消費の作成と処理が含まれます。

注意: このトピックでは、発注先は発注先または製造元を指し、顧客は顧客または外注先を指します。また、VMI 倉庫とは顧客または外注先の倉庫のことで、顧客または外注先は、発注先または製造元によって提供される商品をこの倉庫から消費します。

消費マスタデータ

発注先の管理倉庫で在庫消費を記録して在庫レベルを更新し、請求を開始するには、次の手順を実行します。

1. 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションで、次のチェックボックスをオンにします。
 - [VMI (発注先側)] チェックボックス。VMI 環境の消費をメンテナンスします。
 - [資材フローで外注] および [資材フローで外注 - サービス] チェックボックス。外注環境の消費をメンテナンスします。
2. 条件 (tctrm1100m000) セッションで、関連する取引先、倉庫、および品目の条件を指定します。
3. 消費ラインにスケジュールの外部梱包票を含める必要がある場合は、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで、[外部梱包票必須] チェックボックスをオンにします。販売先取引先、出荷先取引先、および品目の組合せについて、[重複外部梱包票を許可] チェックボックスがオンになっている場合、すでに使用された外部梱包票を使用できません。
4. 在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで外注シナリオにおける消費を作成するには、ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [在庫更新方法] フィールドに次の値を設定します。
 - [入庫および消費]
 - [入庫、消費および在庫残高]
 - [消費としての在庫残高]

このオプションフィールドを指定していない場合、VMI シナリオでは在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで在庫数量が表示されず、資材消費がバックフラッシュで更新されます。

VMI 機能の設定方法の詳細は、VMI 顧客役割 - 設定 (ページ 25) および VMI 発注先予測 - 設定 (ページ 30) を参照してください。外注についての情報は、外注の概要を参照してください。

消費

消費レコードは、生成することも、マニュアルで作成することもできます。このレコードは、発注先による在庫数量と、顧客によるその後の消費を示します。

消費レコードは、1 つのヘッダおよび 1 つ以上のラインから成ります。

- 消費ヘッダ
VMI 倉庫に補充されると、消費ヘッダが生成されます。消費レコードのヘッダには、顧客の名前、VMI 倉庫、集計された在庫消費および消費済品目数量が含まれています。これらのヘッダは、在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで表示およびメンテナンスできます。
- 消費ライン
顧客が資材を消費した場合、消費ラインが作成されます。個々の消費の詳細は、在庫消費ライン (tdsls4141m000) セッションで表示およびメンテナンスできます。
- 消費ラインは、LoadInventoryConsumption ビジネスオブジェクト文書 (BOD) を受け取った後に生成されますが、顧客から受信した電子メールや着信した電話に基づいてマニュアルで作成することもできます。

消費が指定された後、次のように処理する必要があります。

- 請求できる場合、顧客に消費数量を請求します。
- 管理倉庫の在庫レベルを引き下げます。

詳細は、次の情報を参照してください: 消費の処理 (ページ 61)

注意

顧客の LN システムでは、委託消費 (whwmd2551m000) セッションおよび在庫消費 (whina1514m000) セッションで消費が生成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 消費レコード

価格および値引

- 販売オーダー
消費日付または補充日付のいずれかを使用して発生元販売オーダーラインの値に基づく価格と値引が決定されます。この計算は、オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] パラメータ設定に従って行われます。
- 販売スケジュール
販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [消費請求書ラインのリンク先] フィールドの値が LN で確認されます。このフィールドは、[スケジュールヘッダ] または [スケジュール要件ライン] に設定できます。

[消費請求書ラインのリンク先] フィールドの値に応じて、価格と値引が次のラインから取得されます。

- [スケジュールヘッダ]
消費のリンク先となっている販売スケジュールの最初のスケジュールライン。連続したスケジュールラインの情報は考慮されません。
- [スケジュール要件ライン]
消費のリンク先となっている販売スケジュールの最初のスケジュールライン。

注意

- 販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションでは、消費請求ラインは販売オーダーラインにリンクしています。販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションでは、消費請求ラインは販売スケジュールヘッダまたは販売スケジュールライン/計画済倉庫オーダーラインにリンクしています。
- 販売委託請求オーダーの価格は消費日付に基づいています。

[使用払] 販売オーダー/スケジュールライン

支払タイプが [使用払] で、活動 [請求への発行] がオーダー手順の一部になっている販売オーダー/スケジュールラインでは、次のことを行うことができます。

- 消費を登録する
- 請求対象、つまりリンクされている消費ラインの請求ラインが作成される
- [自己請求] チェックボックスがオン

注意

これは拡張委託の設定に適用され、委託在庫の消費の請求を補充オーダーまたはスケジュールに直接リンクします。

基本委託設定では、オーダーおよびスケジュール手順が補充部分と請求部分に分割されます。以下のルールが適用されます。

- 販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションの [委託補充] チェックボックスがオンになった販売オーダーである委託補充オーダーには、請求を行うことができません。
- 委託補充オーダーは [請求への発行] オーダー手順の一部になっているので、消費は [委託請求] 販売オーダーのみを使用して請求できます。これらの販売オーダーは、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションの [委託請求] チェックボックスがオンになっています。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売と調達における委託

消費の処理

請求対象かどうかを判断して関連する顧客への請求を開始し、管理倉庫の在庫レベルを下げるには、在庫消費を処理する必要があります。処理中に LN では VMI 倉庫に入庫された品目の (補充) オーダーまたはスケジュールに消費がリンクされます。

次の処理ができます。

- 消費ライン。在庫消費ライン (tdsls4141m000) セッション内の適切なメニューで、[消費ラインの処理] を選択

- 品目の消費ライン。在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで、適切なメニューの [在庫消費の処理] を選択
- 在庫消費の処理 (tdsls4290m000) セッションの一連の消費。

消費が処理されると、消費にリンクされたオーダおよびスケジュールが在庫消費ライン別オーダ (tdsls4142m000) セッションに表示されます。

注意

これらのすべてのセッションは、在庫消費 (tdsls4640m000) セッションから開始できます。

処理手順

消費の処理時:

1. [外注参照] を消費ラインで指定する場合、消費は購買オーダ資材供給ライン (tdpur4116m000) セッションの対応する購買資材供給ラインにリンクされます。
2. [参照]、[出荷参照]、または両方のフィールドが指定されている場合、これらのフィールドの組合せに一致する販売スケジュールが検索され、消費がスケジュールにリンクされます。スケジュールが見つからない場合、メッセージが表示されます。
3. [梱包票] が利用可能な場合、一致する販売スケジュール出荷が検索され、消費がスケジュールにリンクされます。スケジュール出荷が見つからない場合、メッセージが表示されます。
4. [顧客オーダ] が利用可能で、一致する販売オーダが見つかった場合、オーダの支払条件を使用して消費がオーダにリンクされます。
5. 一致する販売オーダが見つからない場合は、一致する販売スケジュール (ライン) を [顧客オーダ] または [顧客契約参照] を使用して消費にリンクできるかどうかチェックされます。
6. [請求必須] チェックボックスがオンになっている場合、消費にリンクできる [使用払] 販売オーダラインが検索されます。商品ラインの [請求必須] チェックボックスがオフの場合、在庫レベルが自動的に引き下げられます。詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫での在庫レベルの調整
7. [使用払] 販売オーダラインが見つからない場合、消費にリンクできる [使用払] 販売スケジュールラインが検索されます。
8. [使用払] 販売スケジュールラインが見つからない場合、委託請求販売オーダが作成され、消費数量の請求が処理されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 消費の補充オーダ/スケジュールのヘリンク (ページ 63)

返品処理

- 消費ラインで [返品] チェックボックスがオンの場合、請求は必要ありません。
- 見つかった販売オーダが [使用払] の場合、請求されない請求ラインが作成されます。請求ラインには、返品消費数量が販売オーダ請求ライン (tdsls4106m100) セッションの [返品消費数量] フィールドに表示されます。
- [外注参照] に入力済か、返却済品目が **梱包品目** の場合、消費ラインの [処理済] チェックボックスがオンになり、他のアクションは実行されません。
- 数量を返却するには、販売返品オーダをマニュアルで作成し、それを関連するオーダ/スケジュールにリンクする必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 販売返品オーダ

管理倉庫での在庫レベルの調整

出庫手順や出荷手順を実行せずに管理倉庫の在庫レベルが自動的に更新されます。在庫の減少を登録するために、[販売 (マニュアル)] タイプの販売オーダーと出荷が作成されます。

この販売オーダーと出荷は品目 - 倉庫 - 在庫処理 (whinr1510m000) セッションと在庫消費 (whina1514m000) セッションで表示できます。この販売オーダーの所有権は [顧客所有] です。発生元が [使用払] の販売オーダー/スケジュール、委託請求オーダー、または外注購買オーダーに基づいて、請求と支払が行われるからです。

消費の補充オーダー/スケジュールのヘリンク

消費レコードは、補充外注オーダー、または VMI オーダーまたはスケジュールにリンクする必要があります。消費を補充オーダー/スケジュールにリンクできない場合、消費数量の請求を処理するために販売委託請求オーダーが生成されます。

外注オーダー

消費ラインを外注購買オーダーにリンクするために、外注参照、消費済品目の順に利用して、外注購買オーダーを照合して関連する資材供給ラインが検索されます。在庫消費ラインの品目に一致する品目を含む資材ラインが選択されます。

原価計算を行うには、使用済資材を適切な外注購買オーダーに記帳する必要があります。このため、在庫消費ライン (tdsls4141m000) セッションの [外注参照] フィールドは必須です。

通常、製造元から供給される資材と、製造元用の品目を製造するために外注先が消費する資材については、外注先は請求されません。

作業外注、品目外注、またはサービス外注資材供給ラインにリンクされた消費ラインの場合、外注先から消費メッセージを受け取った後に、購買オーダー資材供給ライン (tdpur4116m000) セッションの [消費数量] フィールドが更新されます。これにより、在庫レベルが更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫での在庫レベルの調整を参照してください。

VMI オーダーまたはスケジュール

LNでは、消費ラインを販売業者管理在庫 (VMI) オーダーまたはスケジュールにリンクするために、参照と出荷参照の組合せを使用して、一致する販売スケジュール出荷が検索されます。次に、梱包票を使用して、一致する販売スケジュール出荷が検索されます。最後に、顧客オーダー/スケジュール参照が検索の対象になります。

VMI 環境では、顧客オーダーまたはスケジュールの参照は必須ではありません。在庫消費ラインに顧客オーダー/スケジュール参照が含まれている場合、一致する [顧客オーダー] または [顧客契約参照] を含む販売オーダーまたは販売スケジュールが検索されます。一致する参照番号が見つからない場合、[顧客スケジュール番号] が一致する最初の顧客スケジュール参照が検索されます。連続するスケジュールラインが異なる顧客スケジュール参照を持つことがあっても、消費ラインは、この特定の販売スケジュールにリンクされています。

支払が [使用払] に設定されている場合、在庫レベルが更新され、請求が発生します。消費ラインにリンクされたオーダー/スケジュールラインでは、販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) または販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで請求ラインが作成されます。

支払が [貨物引換払] または [支払なし] に設定されている場合、在庫レベルのみ更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫での在庫レベルの調整を参照してください。

梱包票または顧客オーダー/契約/スケジュール参照がなく、[請求必須] チェックボックスがオンの場合、次のようになります。

1. まだ完全に消費されていない、[使用払] タイプの支払を持つもっとも古い販売オーダー/スケジュールが検索されます。一致する販売オーダーラインまたは販売スケジュールラインが見つかった場合、その販売オーダーラインまたは販売スケジュール (ライン) にリンクされた請求ラインが作成されます。
2. 一致するラインが見つからない場合、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [委託請求オーダータイプ] フィールドに基づいて委託請求販売オーダーが作成されます。

[使用払] 販売オーダー/スケジュールラインが使用されており、合計消費数量がオーダー数量を超えている場合、「収まる」部分の請求ラインが作成されます。残りの部分については、他の [使用払] 販売オーダー/スケジュールラインが検索され、請求ラインが作成されます。販売オーダー/スケジュールラインが見つからない消費数量については、委託請求販売オーダーが作成されます。

作成された請求ラインごとに、LN により在庫レベルが請求数量で更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 管理倉庫での在庫レベルの調整を参照してください。

注意

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションで [外部所有権] チェックボックスがオンになっている場合のみ、[使用払] 販売オーダー/スケジュールラインが検索されます。

発生元 [消費] がある販売委託請求オーダー

消費を補充オーダーにリンクできない場合、消費数量の請求が処理するために販売委託請求オーダーが生成されます。これらのオーダーの発生元は [消費] であり、そのオーダータイプは、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [委託請求オーダータイプ] フィールドから取得されます。

これらのオーダーの在庫レベルの更新は倉庫管理によって処理されます。これは、倉庫活動が販売委託請求オーダーのオーダー手順の一部であるためです。

委託請求オーダーが倉庫管理に発行された後、在庫レベルの調整が出庫処理によって処理されます。委託請求オーダータイプにリンクされた倉庫オーダータイプの活動を、自動に設定する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 倉庫手順を定義するには

注意

- 販売委託請求オーダーの価格は消費日付に基づいています。
- 発生元が [消費] の販売オーダーを取消または削除することはできず、対応するラインを取消、削除、追加したり、品目と数量を変更したりすることもできません。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

バックフラッシュ

論理的な使用量、および完了とレポートされた品目の数量に基づく、在庫からの資材の自動出庫、または品目の製造に使用された時間の計算

請求バッチ

請求処理を行うオーダタイプとオーダを指定します。請求バッチを実行すると、請求データが選択され、その請求バッチで指定したオーダタイプとオーダに関する請求書が生成されます。

販売スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。販売スケジュールは、頻繁に納入される長期の販売をサポートします。品目、販売先取引先、出荷先取引先、および納入パラメータが同じである要求はすべて、同じ販売スケジュールに保存されます。

クラスタ

1 つの財務会社またはロジスティック会社に必ずしも関連しないエンティティのグループ
企業計画では、クラスタは、供給関係によって接続された倉庫のグループに使用されます。

需要予測

計画期間において需要が予測される品目数量。需要予測は、季節パターンや履歴需要データをもとに生成できます。

需要予測は、計画品目またはチャネルの需要計画の一部です。

需要予測

将来的に予想される需要のレベル

需要予測は需要データの履歴に基づいており、最適な在庫バッファおよび発注点を決定するために使用できます。

次を参照してください: 在庫バッファ、発注点

計画物流オーダー

内部発注先または姉妹会社が品目の数量を納入する企業計画でのオーダー

引当

出庫処理に先立つ、需要に対する在庫の確保

取引先または特定の需要オーダーに在庫量を引き当てることができます。

注意

販売オーダーなど特定の需要オブジェクトが取引先、オーダー、または参照に引き当てられることを文書に記載している場合があります。その表現は、実際には、その特定の取引先、オーダー、または参照に引き当てられている供給で需要オブジェクトを満たす必要があることを意味します。

予測

その品目を購入する顧客によって計算され、合意された条件に従って予測期間に総計される、品目に対する需要

顧客は、品目の供給を計画する発注先に予測を送信します。

品目発注先計画

特定の発注先に関連した品目の需要および供給の時系列で見た概要

販売業者管理在庫に関する操作をするための品目発注先計画が提供されます。品目発注先計画は、発注先に送信した予測や、発注先が送り返してきた確認済供給情報などのデータを表示します。

品目発注先計画を品目オーダー計画と比較できます。違いは、品目オーダー計画がすべての発注先および顧客からの需要および供給を表示するのに対し、品目発注先計画は特定の発注先の需要および供給を表示する点です。

倉庫

商品を收容する場所。各倉庫に対して、住所データおよびそのタイプに関するデータを入力できます。

出庫勧告

商品をピッキングして出庫する保管場所とロットを勧告するために、ブロック済保管場所や出庫方法などの要因を考慮して生成されるリスト

発注先

次を参照してください: 購買元取引先 (ページ 71)

購買スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。購買スケジュールは、頻繁に納入される長期の購買をサポートし、通常、購買契約によって支援されます。品目、購買元取引先、出荷元取引先、購買オフィス、および倉庫が同じである要求はすべて、1つのスケジュールに保存されます。

販売業者管理在庫 (VMI)

発注先がそれぞれの顧客や外注先の在庫を管理する際に通常従う在庫管理方法です。また、発注先は供給計画も管理している場合があります。他にも、在庫は顧客が管理し、供給計画は発注先が担当している場合もあります。在庫管理や在庫計画は、ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) に外注することもできます。

発注先が納入する在庫は、発注先、または顧客が所有します。多くの場合、在庫の所有権は顧客が在庫を消費する際に発注先から顧客に変更されますが、契約で規定されている時期に所有権の移行が生じることもあります。

販売業者管理在庫は、計画や資材の調達に関連する内部コストを削減できるほか、販売業者はサプライチェーンを明確に把握しながらそれぞれの在庫をよりよく管理できます。

品目

購買、保管、製造、販売などができる原材料、部分組立品、完成品、および工具

品目は、1つのキットとして処理される一連の品目を表すことも、複数の製品バリエーションに存在することもできます。

非物理的な品目、つまり、在庫には保持されないが、原価を転記したりサービス料金を顧客に請求したりするために使用できる品目も定義できます。非物理的な品目の例は次のとおりです。

- 原価品目 (電気代など)
- サービス品目
- 外注サービス
- リスト品目 (メニュー/オプション)

外注

別の関係者から、プロジェクトの一部実行、製造オーダーの作業などの特定のサービスを借用すること

外注

品目に関わる作業を別の会社 (外注先) に委託すること。製造工程全体を委託することも、製造工程における1つまたは複数の作業だけを委託することもできます。

作業外注

品目の製造工程における1つまたは複数の作業が外注先に委託されます。

品目外注

品目の製造工程全体が外注先に委託されます。

サービス外注

品目のサービス関連の作業を別の会社に割り当てます。メンテナンスまたは修理プロセス全体を割り当てる場合と、その一部だけを割り当てる場合があります。サービス外注には、資材フローサポートを使用する場合と使用しない場合があります。

委託

在庫またはオーダにある商品の所有権のタイプ

顧客の場合、委託商品は発注先が納入する自社が所有していない、また支払を実行していない商品です。商品を使用、または販売する時に、または商品を受け取ってから一定の期間後に所有者になり、支払が生じます。

発注先の場合、委託商品は顧客に納入したが、顧客が商品を使用、または販売するまで、あるいは商品の入庫後一定期間が過ぎるまで、顧客が所有権を持たない、または支払を実行しない商品です。

商品の入庫と顧客が所有者になる日付までの期間、および支払期限は、発注先と顧客間の契約で規定されます。

関連トピック: 所有権

同義語: 使用払

消費

顧客による、または顧客の代理による、委託品目の倉庫からの出庫。顧客は、これらの品目を販売、製造などに使用することを目的としています。品目が出庫されると、顧客はその品目の所有者になるため、発注先に支払を実行する必要があります。

扱い単位

梱包と内容から一意に識別可能な物理的な単位。扱い単位には、品目を含めることができます。扱い単位には、品目の梱包に使用する梱包資材の構造があります。または、扱い単位がその構造の一部を構成します。

扱い単位には、次の属性が含まれています。

- 識別コード
- 梱包品目 (オプション)
- 梱包品目数量 (オプション)

品目を扱い単位にリンクさせる場合、その品目は扱い単位によって梱包されます。梱包品目は、扱い単位を構成するコンテナやその他の梱包資材のタイプを指します。たとえば、扱い単位を木枠に指定するには、扱い単位の梱包品目に木枠を定義します。

次を参照してください: 扱い単位構造

所有権レコード

所有権レコードは、次のいずれかのオブジェクトに関してリストされている品目の所有者を指定します。

- 入庫ライン
- 出庫勧告ライン
- 出荷ライン
- 循環棚卸オーダーライン
- 調整オーダーライン

これらのオブジェクトには、さまざまな所有者の品目のほか、会社所有の品目の一部を含めることができます。所有権レコードは、マニュアル、または自動で所有者ごとに別々に作成されます。たとえば、入庫ラインに2つの所有者の在庫がある場合、入庫ラインには2つの所有権レコードがあります。

管理倉庫

取引先で管理されている倉庫のビューを提供する倉庫。管理倉庫は取引先のシステムで管理されている物理的な倉庫に対応しています。この物理的な倉庫では、入庫および出庫処理が実行されます。管理倉庫は、取引先の倉庫に存在している在庫レベルを反映します。

管理倉庫は、次のような状況で使用されます。

- 倉庫は自社のサイトにあるが、発注先が管理しており、品目を実際に使用するまでは発注先がおそらくその在庫を所有している
- 倉庫は顧客のサイトにある。在庫は顧客が品目を使用するまで自社で所有しているが、在庫の管理は顧客が行っている
- 倉庫は外注先のサイトにある。倉庫に未完成商品があり所有しているが、在庫の管理は外注先が行っている

管理倉庫は、LNで定義できる倉庫タイプの1つではありません。管理倉庫の設定には、さまざまなパラメータ設定が必要です。

保管場所

商品を保管する、倉庫内の独立した場所

倉庫は、利用可能スペースの管理や、保管されている商品の照会のために、複数の保管場所に分割することができます。保管条件およびブロックは保管場所ごとに適用できます。

統合取引

財務会計以外のLNパッケージを通じて作成される会計取引。財務会計に反映しなければならないロジスティック取引ごとに、商品販売の購買/受領、生産/仕掛品振替、およびプロジェクト/コストなどの統合取引が作成されます。統合取引は統合マッピング体系で定義された元帳勘定とディメンションに転記されます。

梱包票

出荷する特定の梱包内容を詳細に記載したオーダー文書。項目には、品目の説明、荷主または顧客の品目番号、出荷数量、および出荷品目の在庫単位などがあります。

取引先

顧客または発注先などの、商取引を行う当事者。顧客や発注先となる部署を組織内で取引先として定義することもできます。

取引先の定義には次の情報が含まれます。

- 組織の名前と主要な住所
- 使用される言語と通貨
- 課税および法定 ID データ

取引先の担当窓口担当者を取引先とします。取引先の状況によって、処理が実行可能かどうかが決まります。処理のタイプ (販売オーダー、請求書、支払、出荷) は取引先の役割で定義します。

在庫レベル

倉庫で利用可能な在庫数量。VMI や外注シナリオの場合、倉庫供給は発注先と顧客間の契約で規定されている在庫レベルを基準にできます。

直送

販売元が商品を購入元取引先からオーダーする処理。購買元取引先はまた、商品を販売先取引先に直接納入しなくてはなりません。販売オーダーまたはサービスオーダーにリンクされた購買オーダーを使用して、購買元取引先は商品を販売先取引先に直接納入します。商品は自社の倉庫から納入されないの、倉庫管理は関係しません。

販売業者管理在庫 (VMI) のセットアップでは、顧客倉庫の購買オーダーを作成することで直送が達成されます。

販売元は次の理由で直送を決定できます。

- 利用可能在庫の不足
- オーダー数量が時間内に納入できない
- オーダー数量を自社で輸送できない
- 原価および時間が保存される

顧客所有

在庫またはオーダーにある商品の所有権のタイプ。顧客所有商品は、入庫、または出庫の倉庫処理中に所有権が変更されない商品です。

たとえば、顧客が外注先に製品の製造に必要なコンポーネントを送付した場合を考えます。これらコンポーネントは、外注先の倉庫での保管時、および製品の製造や顧客への納入にかかわるすべてのロジスティック処理および製造処理全体で顧客が所有しています。

関連トピック: 所有権

購買契約

購買契約を使用して、特定商品の納入に関する購買元取引先との特定合意を登録します。

契約は次のもので構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで関連条件合意が記載された購買契約ヘッダ
- (集中) 価格合意、ロジスティック合意条件、および数量情報が含まれる 1 つ以上の購買契約ライン。品目または価格グループに適用されます。
- ロジスティック合意条件および数量情報が含まれる購買契約ライン詳細。マルチサイト法人の特定サイト(倉庫)の品目または価格グループに適用されます。この契約ライン詳細があるのは、法人購買契約の場合だけです。

住所

アドレス関連の完全な詳細セットには、郵便住所または電話、ファックスおよびテレックスの番号、Eメール、インターネットのアドレス、課税目的の識別情報、および工順情報が含まれます。

ソーシング率

オーダーが発注先の間でどのように分配されるかを計算するために使用する割合

在庫約定

オーダーに対する在庫の予約。倉庫内の商品の実際の保管状況は考慮されません。以前は固定引当と呼ばれていました。

購買元取引先

商品またはサービスのオーダー先の取引先。これは通常発注先の販売部署になります。この定義には、デフォルト価格と値引合意、購買オーダーのデフォルト、受渡条件、関連する出荷元と請求元の取引先が含まれます。

同義語: 発注先

条件合意

商品の販売、購買、転送に関する取引先間の契約であり、オーダー、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件を定義し、正しい条件を取得するための検索メカニズムを定義できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性(フィールド)とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダー、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

ロゼッタネット

供給チェーン管理や製造などの分野においてXMLベースの電子メッセージング標準を策定および発行する標準化機構

購買の買掛入庫

請求がいつ購買商品に適用されるかを示し、オーダーまたはスケジュールの買掛および請求明細が含まれています。購買買掛入庫を使用して、買掛金モジュールとの間の更新が処理されます。

購買商品の支払が [使用払] に設定されている場合、購買オーダーまたは購買スケジュールに関連する在庫が消費されたとき、つまり倉庫から出庫されたときに買掛入庫が生成されます。支払が [貨物引換払] に設定されている場合、購買商品が入庫した時点で買掛入庫が生成されます。

サプライチェーン

発注先からの原材料の取得から、顧客の要求に応じた最終製品の提供までにかかわる、物理的エンティティ、人材、および処理

自己請求

取引先間での合意により、商品の入庫または消費を基準として行われる、請求書の定期的な作成、照合、および承認。販売先取引先は、購買元取引先からの請求書を待たずに、商品に対する支払を行います。

外注購買オーダー

LN では、外注は外注先からのサービスの購入とみなされます。このため、外注の場合には、外注作業とそれにかかった費用を記録するための外注購買オーダーが生成されます。

倉庫移動

倉庫間で品目を移動させるための倉庫オーダー。

倉庫移動には、在庫処理タイプが [転送] の倉庫オーダーが必要となります。

ビジネスオブジェクト文書 (BOD)

企業または企業アプリケーション間でデータの交換に使用する XML メッセージ。BOD はメッセージの内容を識別する名詞、および文書で実行するアクションを識別する動詞で構成されています。名詞と動詞の一意の組合せによって、BOD の名前が形成されます。たとえば、名詞「ReceiveDelivery」と動詞「Sync」の組合せは、「BOD SyncReceiveDelivery」になります。

VMI 倉庫

保管済商品の発注先が次のどちらか一方または両方のタスクを行う倉庫。タスクは倉庫管理 (入出庫処理に伴う活動を含む) または倉庫内の商品の供給計画です。発注先が倉庫内の在庫の所有者となっていることもあります。通常、この倉庫は顧客の施設内にあります。

在庫所有権変更オーダー

所有権が時間ベースの場合、商品の所有権を発注先、つまり、購買元取引先から自社に変更する手数料。所有権も参照。

在庫所有権変更オーダーは、一般情報を示すオーダーヘッダ、および含まれている品目の詳細を示す1つまたは複数のオーダーラインで構成されます。さらに、所有権変更の結果、扱い単位構造の調整を含む再配置が必要になる場合、ライン処理情報も提供されます。

所有権変更のために、品目に時間ベースの変更オーダーが作成されます。所有権変更に関連する会計取引を生成し、在庫の所在を追跡するために、変更オーダーが使用されます。

会社所有

自社で所有されている商品。在庫またはオーダーにある商品の所有権のタイプ。受渡条件および権利移動地点などの標準属性に基づいて標準業務プロセスに対して設定されます。顧客が商品を受け取ると、または保管すると、商品の所有権が顧客に移ります。発注先から商品を購入する場合は、商品の入庫、または保管後に所有者になります。

関連トピック: 所有権

使用払

次を参照してください: 委託 (ページ 68)

在庫日付

保管時に品目に割り当てられる日付。在庫日付を使用すると、大規模なロット管理を実施しなくてもFIFO(先入れ先出し)またはLIFO(後入れ先出し)に基づいて品目を取り出すことができます。

在庫日付は、後入れ先出しまたは先入れ先出しの出庫優先順位、または品目の製品有効期限に使用されます。

後入れ先出しまたは先入れ先出しの出庫優先順位では、在庫日付のデフォルトはシステム日付です。しかし、この日付は上書きできるので、在庫日付は保管日付と同じである必要はありません。品目に特定の保存期間がある場合、在庫日付は品目について定義された製品有効期限です。

出庫優先順位

品目が取得される保管場所の順番を決定する情報

梱包品目

製造、物流処理、および特に倉庫内での商品の保留および移動のために使用するコンテナまたはサポート。たとえば、ボックスやパレットです。

索引

- 適切なメニュー, 65
 - 役割
 - VMI, 9, 10
 - バックフラッシュ, 65
 - 変更オーダー
 - 在庫所有権, 38
 - 所有権, 37, 38, 39
 - 所有権, 35
 - VMI, 11
 - 時間ベース, 37
 - 消費ベースの変更, 36
 - 変更, 37
 - 変更オーダー, 37, 38, 39
 - 請求
 - 消費の返品, 49
 - 請求バッチ, 65
 - 販売スケジュール, 65
 - 在庫
 - 消費, 59
 - クラスタ, 65
 - 需要予測, 65, 66
 - 計画物流オーダー, 66
 - シナリオ
 - VMI, 9, 13
 - 完全 VMI, 14
 - 完全 VMI の手順, 21
 - 顧客による供給計画, 15
 - 顧客による倉庫管理, 18
 - 顧客による倉庫管理の手順, 23
 - 発注先別計画, 17
 - 引当, 66
 - 予測, 66
 - 品目発注先計画, 66
 - 倉庫, 66
 - VMI, 10
 - 管理, 53
 - VMI
 - シナリオ, 9, 13
 - パーティ, 9
 - 概要, 9
 - 完全 VMI のシナリオ, 14
 - 完全 VMI の手順, 21
 - 基本的な, 19
 - 顧客による供給計画, 15
 - 顧客による倉庫管理, 18
 - 顧客による倉庫管理の手順, 23
 - 顧客役割, 25
 - 設定, 25, 30
 - 倉庫, 10
 - 倉庫設定, 41
 - 発注先別計画, 17
 - 発注先役割, 30
 - 役割, 9, 10
 - 出庫
 - 在庫の所有権の指定, 43
 - 在庫の判断, 41
 - 出庫勧告, 66
 - 発注先, 71
 - 購買スケジュール, 67
 - 販売業者管理在庫 (VMI), 67
 - 品目, 67
 - 外注, 67, 67
 - 作業外注, 67
 - 品目外注, 68
 - サービス外注, 68
 - 販売業者管理在庫
 - VMI, 9
 - 概要, 9
 - パーティ
 - VMI, 9
 - 担当
 - VMI, 10
 - 在庫所有権
 - VMI, 11
 - 変更, 35
 - 顧客による倉庫管理
 - 手順, 23
 - 委託, 68
 - 基本的な設定, 19
 - 返品, 48
 - 顧客役割
 - 設定, 25
 - 発注先役割
 - 設定, 30
-

消費, 37, 68
 さまざまな所有者への返品, 49
 ソーシングルール, 42
 レコード, 37
 委託在庫, 36, 37
 在庫, 59
 取引先の判断, 45
 処理, 61
 所有権変更, 36
 発注先のシステム, 59
 非所有在庫, 36, 37
 返品, 48
 補充オーダー, 63
所有権変更, 37
委託在庫
 消費, 36, 37
非所有在庫
 消費, 36
所有権変更オーダー
 処理, 39
 生成, 38
所有権登録
 特徴, 40
在庫特徴
 設定, 40
扱い単位, 68
 設定, 40
倉庫設定
 VMI, 41
ソーシングルール
 消費, 42
返品
 さまざまな所有者への消費, 49
 委託, 48
 消費, 48
 請求, 49
所有権レコード, 49, 69
 マニュアルで挿入, 50
 生成、またはマニュアル挿入, 50
 調整に対してマニュアルで挿入, 50
管理倉庫, 69
 顧客の更新, 55, 55, 57
 更新, 53, 55, 55, 57
 自動入庫, 55
 発注先の更新, 55
入庫
 自動, 55, 55, 55, 55, 57
自動入庫, 55, 55, 55
 顧客の管理倉庫, 55, 57
 処理, 55
 設定, 57
保管場所, 69
統合取引, 69
梱包票, 69
取引先, 70
在庫レベル, 70
直送, 70
顧客所有, 70
購買契約, 71
住所, 71
ソーシング率, 71
在庫約定, 71
購買元取引先, 71
条件合意, 71
ロゼッタネット, 71
購買の買掛入庫, 72
サプライチェーン, 72
自己請求, 72
外注購買オーダー, 72
倉庫移動, 72
ビジネスオブジェクト文書 (BOD), 72
VMI 倉庫, 72
在庫所有権変更オーダー, 73
会社所有, 73
使用払, 68
在庫日付, 73
出庫優先順位, 73
梱包品目, 73
